

事業シート（令和3年度決算ベース。令和4年6月作成。担当課名は令和4年度時点）

全体通番	款	項	目	事業コード	会計区分	事業名称	R3予算事業名 (5計事業名称と異なる場合に記載)	事業開始年度	担当課名	R3事業費合計 (千円)	R3担当 正職員 (人)	R3臨時 職員等 (人)	R3総事業 費(人件 費を含む) (千円)	うち一般財 源(千円)
287	7	1	2	[00000295]	一般会計	中小企業等経営支援事業		平成16年度	商工観光課	88,840	0.1	0	89,395	9,395
288	7	1	2	[00000296]	一般会計	商工会活動等促進事業	商工会活動等 支援事業	平成16年度	商工観光課	8,555	0.3	0	10,221	10,221
289	7	1	2	[00001119]	一般会計	企業立地等促進事業		16年度	商工観光課	0	0.2	0	1,111	1,111
290	7	1	2	[00001120]	一般会計	里山オフィス管理運営事業		平成30年度	商工観光課	574	0.1	1	1,129	831
291	7	1	2	[00001358]	一般会計	物産の販路拡大促進事業	物産販路拡大 促進事業	平成16年度	商工観光課	199	0.1	0	754	604
292	7	1	2	[00001401]	一般会計	中小企業等経営支援事業（新型コロナ対策）		平成16年度	商工観光課	146,864	0.3	0	148,530	99,514
293	7	1	3	[00000297]	一般会計	観光事務費		平成16年度	商工観光課	4,645	0.2	1	5,756	5,748
294	7	1	3	[00000298]	一般会計	海水浴場運営事業		平成16年度	商工観光課	18,750	0.5	41	21,527	11,912
295	7	1	3	[00000299]	一般会計	観光街路灯整備・維持管理事業	観光街路灯維 持管理事業	平成25年度	商工観光課	12,446	0.2	0	13,557	13,557
296	7	1	3	[00001050]	一般会計	広域連携事業		平成16年度	商工観光課	1,220	0.3	0	2,886	2,886
297	7	1	3	[00001129]	一般会計	地域力創造アドバイザー招致事業		0	商工観光課	337	0.1	0	892	555
298	7	1	3	[00001336]	一般会計	市営駐車場維持管理事業		平成16年度	商工観光課	4,321	0.2	0	5,432	4,844
299	7	1	3	[00001341]	一般会計	観光施設等維持管理事業		平成16年度	商工観光課	1,842	0.3	2	3,508	3,508
300	7	1	3	[00001342]	一般会計	海岸美化活動支援事業		0	商工観光課	3,091	0.2	4	4,202	4,202
301	7	1	3	[00001343]	一般会計	観光客誘致イベント支援事業		平成16年度	商工観光課	19,404	0.3	0	21,070	21,070
302	7	1	3	[00001344]	一般会計	観光団体機能強化支援事業		0	商工観光課	19,611	0.2	0	20,722	14,722
303	7	1	3	[00001345]	一般会計	観光プラットフォーム事業（中間支援組織機能強化推進事業）	観光プラット フォーム事業	平成24年度	商工観光課	18,000	0.5	0	20,777	10,777
304	7	1	3	[00001346]	一般会計	観光プロモーション事業		平成24年度	商工観光課	3,462	0.6	0	6,794	3,794
305	7	1	3	[00001348]	一般会計	観光まちづくりの推進	観光地域づく り育成支援事 業	平成30年度	商工観光課	0	0	0	0	0
306	7	1	3	[00001368]	一般会計	魅力体験広場維持管理事業		令和3年度	商工観光課	1,779	0.3	0	3,445	3,445
307	7	1	3	[00001394]	一般会計	観光誘客事業（新型コロナ対策）		令和3年度	商工観光課	32,000	0.1	0	32,555	12,769
308	7	1	3	[00001405]	一般会計	観光施設等維持管理事業（新型コロナ対策）		0	商工観光課	10,285	0.2	0	11,396	1,111
309	7	1	3	[00001423]	一般会計	観光団体機能強化支援事業（新型コロナ対策）		0	商工観光課	0	0	0	0	0
310	7	1	3	[00001380]	一般会計	観光振興事業（新型コロナ対策） （繰越分）		令和2年度	商工観光課	76,394	0.2	0	77,505	1,111
311	7	1	3	[00001379]	一般会計	海辺の魅力づくり推進事業	海辺の魅力づく り推進事業 （繰越分）	平成28年度	商工観光課	30,955	0.1	0	31,510	2,985
312	7	1	4	[00000304]	一般会計	オーシャンパーク管理運営事業		平成23年度	商工観光課	16,854	0.2	0	17,965	11,360
313	7	1	4	[00001424]	一般会計	オーシャンパーク管理運営事業 （新型コロナ対策）		0	商工観光課	0	0.1	0	555	555
314	7	1	5	[00000305]	一般会計	消費者対策事業（消費者相談体制 促進事業）	消費者相談運 営事業	平成16年度	商工観光課	0	0.1	0	555	555

事業シート(概要説明書)

予算事業名	中小企業等経営支援事業				事業開始年度	平成16年度					
					戦略 該当	○		市民提 案関連	×		
上位施策事業名	3-3 商工業の振興 中小商工業者の経営支援の推進				5計No.	30302					
					5か年計画上の 事業期間(令和)	3~7					
根拠法令等	鴨川市中小企業資金の融資に関する条例、鴨川市中小企業 資金の融資に関する条例施行規則				この事業の 全体計画						
関係個別計画名					担当課名	商工観光課					
事務区分	1自治事務/ 2法定受託事務		1自治事務		係名	商工振興係					
実施の背景	中小企業者及び小規模事業者は、景気の動向を受けやすく経営基盤が弱い傾向にあるため、地域経済の活性化を図り中 小企業者等の経営安定化に向け支援する必要がある。										
目的 (何をどうしたいの か)	中小企業者及び小規模事業者に対し事業に必要な資金を金融機関を通じて融資するとともに、借入れした際の利子補 給を行い金利負担を軽減することにより、資金の融通を円滑に行い市内中小企業の振興を図ることを目的とする。										
事業 概要	対象 (誰・何を 対象に)	市内中小企業者及び小規模事業者							対象者数(全住民に対する割合)		
									1,900 人 (6.0 %)		
	実施方法	1直接実施		1直接実施							
		2業務委託(全部・一部)									
		3指定管理(指定管理者)									
	1補助金	直接補助の場合 中小企業者、小規模企業者			間接補助の場合						
	2貸付(貸付先)	市内金融機関									
第4次5か年 計画の内容	・中小企業資金融資利子補給事業 ・中小企業資金融資保証料補給事業 ・小企業等経営改善資金利子補給事業										
事業内容 (手段、手法 など)	R5年度 (計画)	R4年度 (計画)	R3年度 (実績見込)	R2年度 (実績)	R元年度 (実績)						
		中小企業の経営を支援する為、以下の補助金を交付する。 ・中小企業資金融資利子補給金 ・中小企業資金融資保証料補給金 ・小企業等経営改善資金利子補給金	中小企業の経営を支援する為、以下の補助金を交付する。 ・中小企業資金融資利子補給金 ・中小企業資金融資保証料補給金 ・小企業等経営改善資金利子補給金	・中小企業資金融資保証料補給金 1,120,600円 保証料補給件数 ・中小企業資金融資利子補給金 2,933,862円 利子補給件数 ・小企業等経営改善資金利子補給金 7,243,364円 利子補給件数 ・中小企業資金融資預託貸付金 80,000,000円 ・中小企業資金融資未収補填金 - 円							
関連事業 (同一目的 事業等)											
コスト		R5年度 (予算要求)	R4年度 (当初予算)	R3年度 (決算見込)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)					
	事業費合計	千円	92,420 千円	88,840 千円	91,298 千円	90,952 千円					
	内訳		・中小企業資金融資利子補給事業3,400,000円 ・中小企業資金融資保証料補給事業1,710,000円 ・小企業等経営改善資金利子補給事業7,310,000円 ・預託金 80,000,000円	・中小企業資金融資利子補給事業2,396,153円 ・中小企業資金融資保証料補給事業992,700円 ・小企業等経営改善資金利子補給事業5,450,785円 ・預託金 80,000,000円	・中小企業資金融資保証料補給金 1,120,600円						
	人件費		0 千円	0.1 人 555 千円	0.1 人 555 千円	0.1 人 560 千円					
	合計	0.0 人		0.1 人	0.1 人	0.1 人 560 千円					
総事業費	0 千円	92,975 千円	89,395 千円	91,858 千円							
財源 内訳	国県支出金	千円	千円	千円	千円						
	地方債	千円	千円	千円	千円						
	その他特財	千円	千円	80,000 千円	80,000 千円						
	一般財源	0 千円	92,975 千円	9,395 千円	11,858 千円						
	財源合計	0 千円	92,975 千円	89,395 千円	91,858 千円						
				中小企業資金預託元金収入 80000	中小企業資金預託元金収入						

事業シート(概要説明書)

予算事業名		中小企業等経営支援事業						事業開始年度		
								平成16年度		
事業実績	活動実績	【活動指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度	
		中小企業資金融資利子補給件数	96	件	/ 96	/ 96	85 / 96	/	/	
		現況値の時点	令和元年度		設定根拠	経営の健全化や安定化の為、現状維持				
		中小企業資金融資保証料補給	81	件	/ 81	/ 81	43 / 81	/	/	
		現況値の時点	令和元年度		設定根拠	経営の健全化や安定化の為、現状維持				
		小企業等経営改善資金利子補給件数	226	件	/ 226	/ 226	158 / 226	/	/	
		現況値の時点	令和元年度		設定根拠	経営の健全化や安定化の為、現状維持				
		現況値の時点			設定根拠					
		単位当たりコスト	総事業費	補助金交付件数	千円			313		
		事業成果	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度
創業者数	5			名	/ 8	/ 8	1 / 8	/	/	
現況値の時点	令和元年度			設定根拠	商工会が作成する創業支援等事業計画の年間目標数					
雇用保険資格喪失者数(事業主都合による)	239			名	/ 225	/ 230	211 / 235	/	/	
現況値の時点	令和元年度			設定根拠	経営の安定を量的に表す指標とする。					
事業の自己評価	自己評価(担当課による評価)	1不要・凍結 2国・県・広域が実施 3要改善 4現行どおり・拡充			4現行どおり・拡充					
	今後の事業の方向性、課題等	平成30年度において、中小企業者及び小規模事業者の新たな設備投資のための制度融資の利用は大型観光宿泊施設の休業等の影響を受け減少した。今後、貸付利率を下げ、依然経営基盤が弱い傾向にある中小企業等を支援する、利用しやすい施策として今後も継続していく必要がある。								
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	本市及び近隣市町における中小企業融資制度									
	館山市	種類	区分	貸付限度額	貸付期間	利子補給	保証料補給			
	・一般事業資金	運転資金	1,000万円	5年以内	1.0%	3年以内	3年以内			
		設備資金	2,000万円	10年以内	1.0%	3年以内	3年以内			
		・小口零細企業	運転資金	1,000万円	5年以内	1.0%	3年以内	3年以内		
		保証制度資金	設備資金	1,250万円	10年以内	1.0%	3年以内	3年以内		
	鴨川市	種類	区分	貸付限度額	貸付期間	利子補給	保証料補給			
		・事業資金	運転資金	800万円	5年以内	1.0%	5年以内	5年以内		
			設備資金	1,500万円	10年以内	2.0%	5年以内	5年以内		
		・小口零細企業	運転資金	700万円	5年以内	1.0%	5年以内	5年以内		
保証資金			設備資金	1,000万円	7年以内	2.0%	5年以内	5年以内		
・開業育成		事業資金	設備資金	500万円	5年以内	1.0%	5年以内	5年以内		
事業資金	設備資金	500万円	7年以内	2.0%	5年以内	5年以内				
南房総市、鋸南町は制度なし。										
特記事項										

事業シート(概要説明書)

予算事業名	商工会活動等促進事業				事業開始年度	平成16年度					
	商工会活動等支援事業				戦略 該当	○		市民提 案関連	×		
上位施策事業名	3-3 商工業の振興				5計No.		30301				
	指導団体の育成・強化				5か年計画上の 事業期間(令和)		3~7				
根拠法令等	鴨川市商工会補助金交付要綱 鴨川市たばこ商業協同組合補助金交付要綱			この事業の 全体計画							
関係個別計画名					担当課名	商工観光課					
事務区分	1自治事務/ 2法定受託事務		1自治事務		係名	商工振興係					
実施の背景	商工会法に基づき市内事業者が業種に関わりなく会員となり、互いの事業の発展や地域の発展のために総合的な活動を行う公的団体である商工会など、本市の各経済団体が実施する事業を支援することで、本市の商工振興及び地域の経済活性化を図る必要がある。										
目的 (何をどうしたいのか)	商工会が小規模事業者の経営基盤強化を目的として実施する集団、個別相談等経営改善普及事業や、市内における商業振興、建設工業振興、観光サービス業振興など地域活性化を推進する地域総合振興事業、並びに、たばこ商業協同組合が実施する社会貢献事業等を支援することで本市の商工業振興及び地域経済の拡大循環を図る。										
事業概要	対象 (誰・何を 対象に)	商工会会員				対象者数(全住民に対する割合)		1022 人 (3.3 %)			
	実施方法	1直接実施		1直接実施							
		2業務委託(全部・一部)									
		3指定管理(指定管理者)									
		1補助金	直接補助の場合	鴨川市商工会、千葉県たばこ商業協同組合鴨川支部	間接補助の場合	鴨川市商工会、千葉県たばこ商業協同組合鴨川支部					
第4次5か年 計画の内容	・商工会で実施する経営改善普及事業、商業・建設工業・観光サービス業の各振興事業及び地域振興・活性化推進事業等に対して支援する。・地域商店によるポイントサービス事業等を支援する。										
事業内容 (手段、手法 など)	R5年度 (計画)	R4年度 (計画)	R3年度 (実績見込)	R2年度 (実績)	R元年度 (実績)						
		補助金交付等 ・商工会補助金 ・たばこ組合補助金	補助金交付等 ・商工会補助金 ・たばこ組合補助金	・鴨川市商工会補助金 8,500,000円 経営改善講習 会等の年間開催回数、経営指 導員の指導件数 ・商工会共 同広告・協働イベント賑わい創 出事業補助金 600,000円 共同広告・協働イベント(スタ ンプラリー)参加店舗数 ・鴨 川たばこ商業協同組合補助金 450,000円 たばこ商業協同 組合による未成年者喫煙防 止・環境美化活動件数							
関連事業 (同一目的 事業等)	物産交流協会及び友好交流都市等物産交流事業 1,500千円 (市内商工業者で組織する鴨川市物産交流協会と市が連携し、姉妹都市や友好交流都市等における物産展やアンテナショップに鴨川市の特産品を販売することにより、地元産品の販路拡大やブランド化、それらによる販売事業者の所得向上を図る。) ・小企業等経営改善資金利子補給事業 7,243千円 (商工会の行う経営改善普及事業として経営指導を受けている小規模事業者が、商工会の推薦を受けて株式会社日本政策金融公庫法に基づく小企業等経営改善資金融資【通称:マル経融資】の貸付に対し、市が1%の利子補給を行い市内商工業者の経営の安定化を図る。)										
コスト	事業費合計	R5年度 (予算要求)	R4年度 (当初予算)	R3年度 (決算見込)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)					
		千円	8,055 千円	8,555 千円	9,550 千円	9,550 千円					
	内訳		商工会補助金7,650千円 たばこ組合補助金405千円	商工会補助金7,650千円 たばこ組合補助金405千円 スタンプラリー補助金 500千円	・鴨川市商工会補助金 8,500,000円						
		人件費	担当正職員	0 人 千円	0.3 人 1,666 千円	0.3 人 1,666 千円	0.3 人 1,681 千円				
		臨時職員等	報酬は事業費 欄に記載	報酬は事業費 欄に記載	報酬は事業費 欄に記載	報酬は事業費 欄に記載					
合計	0.0 人	0.3 人	0.3 人	0.3 人	1,681 千円						
総事業費	0 千円	9,721 千円	10,221 千円	11,231 千円							
財源 内訳	国県支出金	千円	千円	千円	千円						
	地方債	千円	千円	千円	千円						
	その他特財	千円	千円	千円	8,500 千円						
	一般財源	0 千円	9,721 千円	10,221 千円	2,731 千円						
	財源合計	0 千円	9,721 千円	10,221 千円	11,231 千円						

事業シート(概要説明書)

予算事業名		商工会活動等促進事業						事業開始年度		平成16年度	
		商工会活動等支援事業						戦略 該当	○	市民提 案関連	×
事業実績	活動実績	【活動指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度		
		地域振興イベント開催件数(実施主体での開催分)	2	件	/ 3	/ 3	0 / 2	/	/		
			現況値の時点	令和元年度		設定根拠	積極的な参画により地域の人的ネットワークの強化を目指す。				
		経営の相談・指導件数	2462	件	/ 2,505	/ 2,490	2,402 / 2,475	/	/		
			現況値の時点	令和元年度		設定根拠	専門的な知見による経営指導により経営安定を図る。				
		鴨川スタンプラリーの参加店舗数	154	店舗	/ 159	/ 157	131 / 155	/	/		
		現況値の時点	令和元年度		設定根拠	積極的に参加店を募集し一体感や気運の醸成を図る。					
	社会貢献事業等実施件数(たばこ組合主催)	5	件	/ 7	/ 6	5 / 5	/	/			
		現況値の時点	令和元年度		設定根拠	積極的な参加により喫煙環境の向上を図る。					
単位当たりコスト	総事業費	/	経営の相談・指導件数	千円			4				
事業成果	成果(目標達成状況)	【成果指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度		
		商工会会員数	1001	件	/ 1015	/ 1010	1022 / 1005	/	/		
			現況値の時点	令和元年度		設定根拠	商工業を牽引する団体としての機能強化が必要。				
		鴨川スタンプラリーの抽選会応募件数	4177	件	/ 4300	/ 4250	2655 / 4200	/	/		
		現況値の時点	令和元年度		設定根拠	魅力ある景品(物産)を揃え応募件数の増加を目指す。					
		現況値の時点			設定根拠						
事業の自己評価	自己評価(担当課による評価)	1不要・凍結 2国・県・広域が実施 3要改善 4現行どおり・拡充			4現行どおり・拡充						
	今後の事業の方向性、課題等	これまで商工会は、経営改善普及事業において、行政では対応できない専門的な知識を持った経営指導員や記帳指導員が個々の小規模事業者に対する経営、財務、税務等の指導を行うとともに、地域活性化を推進する地域総合振興事業では、行政や地域の団体と連携し地域全体の発展に貢献し、市が継続的に支援することにより事業の効果が見られたが、経営改善普及事業が商工会の主となる事業だとして、地域総合振興事業を縮小している傾向にある。また、平成29年度、事業仕分けにより「要改善」の指摘を受け、経営改善普及事業及び地域総合振興事業の内容の検証や補助金の活用方法の検証を進めてきたが、補助金については、これまでも適宜、減額しており、近隣市町の状況と比べ会員数、補助額の割合を見ても高いとは言えない状況にあることから現行どおり実施すべきものと判断したが、今後の商工業振興に対する商工会のビジョン等により、補助金の大幅な削減も検討する必要がある。 たばこ商業協同組合の活動を支援することにより、小規模事業者等の経営安定化だけでなく事業者による地域への社会貢献も期待できる。									
比較参考値(他自治体での類似事業の例など)	・南房総市 平成30年度南房総市朝夷商工会への補助金額 9,050,000円 会員数656事業者 平成30年度南房総市内房商工会への補助金額 5,116,000円 会員数298事業者 ・鋸南町 平成30年度鋸南町商工会への補助金額 4,266,000円 会員数237事業者 ・館山市 平成30年度館山市商工会議所への補助金額 7,071,000円 会員数949事業者										
特記事項	鴨川市商工会補助金:20年度、900万円から850万円に減額 鴨川たばこ商業協同組合補助金:29年度、47万円から45万円に減額 商工会共同広告・協働イベント賑わい創出事業補助金:30年度、65万円から60万円に減額 本事業の令和3年度予算は、商工会活動等支援事業(8,587千円)に予算計上(4月補正)している。										

事業シート(概要説明書)

予算事業名	企業立地等促進事業				事業開始年度		16年度								
					戦略 該当	○	市民提 案関連	×							
上位施策事業名	3-3 商工業の振興				5計No.		30303								
	企業立地と雇用の拡大の促進				5か年計画上の 事業期間(令和)		3~7								
根拠法令等	鴨川市企業立地及び雇用の促進に関する条例 鴨川市付属機関設置条例			この事業の 全体計画											
	関係個別計画名				担当課名		商工観光課								
事務区分	1自治事務/ 2法定受託事務		1自治事務		係名		商工振興係								
	実施の背景				本格的な少子・高齢化と人口減少が進行する中、地域産業の振興と活力ある市勢の伸展、魅力ある地域づくりの推進に寄与し、人口流出に歯止めをかけるため、産業集積の形成及び活性化、地域経済の自律的発展の基盤を強化するとともに、安定的な雇用の場を確保する必要がある。										
目的 (何をどうしたいのか)		事業所の新設又は増設を行う企業に対して必要な奨励措置を講ずることにより、本市における企業の立地及び雇用の促進を図り、もって地域産業の振興と活力ある市勢の伸展に寄与する。													
事業概要	対象 (誰・何を 対象に)	企業等(事業を営む法人又は個人)				対象者数(全住民に対する割合)									
						人 (0.0 %)									
	実施方法	1直接実施		1直接実施											
		2業務委託(全部・一部)													
		3指定管理(指定管理者)													
		1補助金		直接補助の場合 指定企業		間接補助の場合									
2貸付(貸付先)															
第4次5か年 計画の内容	・企業立地促進法、企業立地等条例等に基づく奨励措置等の運用による企業及び事業所の立地及び雇用の促進 ・地域経済分析システムの活用や立地企業との情報交換・交流等を通じた企業等の戦略的な立地促進														
事業内容 (手段、手法 など)	R5年度 (計画)	R4年度 (計画)	R3年度 (実績見込)	R2年度 (実績)	R元年度 (実績)										
		・企業進出の情報収集 ・ホームページ等による 企業誘致の情報発信 ・雇用促進奨励金の交付 ※奨励金制度改正の 検討	・企業進出の情報収集 ・ホームページ等による 企業誘致の情報発信	・奨励措置適用対象企業 の指定 -円 指定数 ・企業立地奨励金の交付 493,000円 交付件数 ・雇用促進奨励金の交付 -円 交付件数 ・市HPを 通じた市内の立地環境に 関する情報提供等 -円 HP記事件数 ・企業立地 促進審議会の開催 -円 開催回数											
関連事業 (同一目的 事業等)	里山オフィスの整備(旧大山小学校校舎の未利用スペースを貸しオフィスとして整備)														
コスト	R5年度 (予算要求)		R4年度 (当初予算)		R3年度 (決算見込)		R2年度 (決算)		R元年度 (決算)						
	事業費合計		千円		268 千円		0 千円		493 千円		4,440 千円				
	内訳				・雇用促進奨励金 1 件(新規0・継続1) 200,000円 他		・企業立地奨励金の交 付 1件(新規0・継続 1) 493,000円								
	人件費	担当正職員	人	0	千円	0.2	人	1,111	千円	0.2	人	1,120	千円	人	千円
		臨時職員等	人		千円		人		千円		人		千円	人	千円
		合計	0.0	人		0.2	人			0.2	人	1,120	千円	人	千円
総事業費		0 千円		1,379 千円		1,111 千円		1,613 千円							
財源 内訳	国県支出金														
	地方債														
	その他特財														
	一般財源	0 千円		1,379 千円		1,111 千円		1,613 千円							
	財源合計	0 千円		1,379 千円		1,111 千円		1,613 千円							

事業シート(概要説明書)

予算事業名		企業立地等促進事業							事業開始年度			
									16年度			
									戦略 該当	○	市民提 案関連	×
事業実績	活動実績	【活動指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度			
		立地企業及び事業所の増加・拡 充件数(奨励措置対象企業指定 件数)	0	件	/ 1	/ 1	0 / 1	/	/			
		企業立地奨励金の交付件数	3	件	/ 2	/ 1	0 / 0	1 / 3	3 / 3			
		雇用促進奨励金の交付件数	0	件	/ 1	/ 1	0 / 0	0 / 1	1 / 1			
		現況値の時点	令和元年度		設定根拠		企業立地の支援策を広く周知し、産業集積を図る。					
		現況値の時点	令和元年度		設定根拠		企業立地の支援策を広く周知し、産業集積を図る。					
	現況値の時点	令和元年度		設定根拠		企業立地の支援策を広く周知し、産業集積を図る。						
単位当たり コスト	総事業費	立地企業等の増 加・拡充件数	千円									
事業成果 (目標達成 状況)	【成果指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度				
	雇用者数(雇用促進奨励金の対 象とする増加雇用者数)	0	名	/ 10	/ 10	0 / 0	0 / 17	7 / 17				
	現況値の時点	令和元年度		設定根拠		雇用の促進を量的に表す指標とする。						
	現況値の時点	令和元年度		設定根拠								
事業の 自己評 価	自己評価 (担当課 による評価)	1不要・凍結 2国・県・広域が実施 3要改善 4現行どおり・拡充			4現行どおり・拡充							
	今後の事業 の方向性、課 題等	地方創生に関する国・県等の動向を踏まえ、企業誘致施策を効果的に推進するとともに、他部門が所管する産業振興関連諸制度との連携の強化を図る必要がある。このため、地域の経済・産業構造の分析や立地企業との情報交換、企業立地促進審議会等を通じ、立地可能性が高く、既存の産業構造に好影響を与える企業等の立地を戦略的に進めるとともに、効果的な誘致活動の実施体制・方法などを検討する。										
比較参考値 (他自治体での 類似事業の例 など)	本市及び近隣市町における立地企業に対する補助金等の概要(令和2年4月1日現在)											
	<ul style="list-style-type: none"> ・鴨川市 対象業種：－ 企業立地奨励金：固定資産税相当額(3年間) 雇用促進奨励金：10万円/人(1回限り、上限3,000万円) ・館山市 対象業種：製造業、観光業、旅館・ホテル業、情報サービス業 立地奨励金：固定資産税、都市計画税相当額を限度(3年間) 雇用促進奨励金：10万円/人(1回限り、上限2,000万円) ・南房総市 対象業種：耕種農業、製造業、情報サービス業、道路貨物運送業、自然科学研究所、旅館、ホテル、高等教育若しくは専門学校の用に供するもの等 立地奨励金：固定資産税相当額(5年間) 雇用促進奨励金：60万円/人(1回限り、3,000万円限度) ※別に環境推進奨励金あり ・鋸南町 制度なし ・勝浦市 対象業種：製造業、旅館業、情報サービス業、情報通信技術利用事業、農林水産物等販売業、流通加工業、植物工場、観光業 企業立地奨励金：固定資産税収納相当額(3年間) 雇用促進奨励金：50万円/人(1回限り、2,000万円限度) ・君津市 対象業種：製造業、情報通信業、流通加工業、卸売業、小売業、飲食サービス業、農業、宿泊業、新エネルギー関連産業 奨励金：法人市民税、固定資産税、都市計画税の納付相当額(5年間) ※法人市民税は新規立地企業の場合のみ 雇用促進奨励金：30万円/人(1回限り) ※別に累積投資型立地奨励金あり ・富津市 対象業種：製造業、加工業並びにこれらに関連する流通、試験、研究他 奨励金：固定資産税収納相当額の範囲内(3年間) ・大多喜町 対象業種：－ 事業所設置奨励金：固定資産税相当額以内(5年間) 雇用促進奨励金：50万円/人(1回限り、上限1,000万円) ※投資額及び雇用者数等、交付に当たっての条件等に差異あり 											
特記事項												

事業シート(概要説明書)

予算事業名	里山オフィス管理運営事業				事業開始年度	平成30年度					
					戦略 該当	○		市民提 案関連	×		
上位施策事業名	3-3 商工業の振興				5計No.		30304				
	企業立地と雇用の拡大の促進				5か年計画上の 事業期間(令和)		3~7				
根拠法令等	鴨川市里山オフィスの設置及び管理に関する条例			この事業の 全体計画							
関係個別計画名					担当課名	商工観光課					
事務区分	1自治事務/ 2法定受託事務		1自治事務		係名	商工振興係					
実施の背景	旧大山小学校において、地区公民館が併設され、地域住民のコミュニティ活動が間近で行われている環境(校舎の一部を公民館として使用中)を活かし、教室等未利用スペースを貸しオフィスとして整備した。入居団体相互又は、地域との協働事業を推進するため共用スペースを併せて整備した。										
目的 (何をどうしたいのか)	地域の活性化に向けて活動する団体等の集積を進め、新規雇用を創出するとともに一層の移住・定住の促進を図る。										
事業概要	対象 (誰・何を 対象に)	里山オフィスの利用団体等							対象者数(全住民に対する割合)		
									人 (0.0 %)		
	実施方法	1直接実施		1直接実施							
		2業務委託(全部・一部)									
		3指定管理(指定管理者)									
		1補助金		直接補助の場合				間接補助の場合			
2貸付(貸付先)											
第4次5か年 計画の内容	企業等の入居を通じて、新規雇用の創出、移住・定住の促進を図る。また、入居団体相互、地域との協働事業を推進し、地域の活性化を目指す。										
事業内容 (手段、手法 など)	R5年度 (計画)	R4年度 (計画)	R3年度 (実績見込)	R2年度 (実績)	R元年度 (実績)						
		会計年度任用職員の 雇用 維持管理業務(光熱水 費・修繕)	会計年度任用職員の雇 用 維持管理業務(光熱水 費・修繕)	・里山オフィスの管理・ 運営 314,088円 入居団体数							
関連事業 (同一目的 事業等)	企業立地等促進事業										
コスト		R5年度 (予算要求)	R4年度 (当初予算)	R3年度 (決算見込)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)					
	事業費合計	千円	718 千円	574 千円	314 千円	976 千円					
	内訳		会計年度任用職員報酬 298,000円 光熱水費216,000円 修繕費50,000円 ほか	会計年度任用職員報酬 275,980円 光熱水費143,161円 修繕費42,013円 ほか	・消耗品費 33,326 円 ・光熱水費 163,453円						
	人件費	担当正職員	0 人	0.1 人	0.1 人	0.3 人	1,681 千円				
		臨時職員等	報酬は事業費 欄に記載	1.0 人	報酬は事業費 欄に記載	1.0 人	報酬は事業費 欄に記載				
		合計	0.0 人	1.1 人	1.1 人	0.3 人	1,681 千円				
総事業費	0 千円	1,273 千円	1,129 千円	1,995 千円	千円						
財源 内訳	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円					
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円					
	その他特財	千円	1,273 千円	298 千円	314 千円	千円					
		使用料収入		使用料収入	里山オフィス使用料	里山オフィス使用料					
	一般財源	0 千円	0 千円	831 千円	1,681 千円	千円					
	財源合計	0 千円	1,273 千円	1,129 千円	1,995 千円	千円					

事業シート(概要説明書)

予算事業名		里山オフィス管理運営事業						事業開始年度		平成30年度	
								戦略 該当	○	市民提 案関連	×
事業実績	活動実績	【活動指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度		
		入居団体数	7	団体	/ 8	/ 8	7 / 8	/	/		
		現況値の時点	令和2年度			設定根拠		入居単体の集積を進め、満室(8部屋)を維持する。			
		入居団体からの年間使用料収入	2808	千円	/ 2,808	/ 2,808	2,467 / 2,808	/	/		
		現況値の時点	令和元年度			設定根拠		事業収益を量的に表す指標とする			
		現況値の時点				設定根拠					
	単位当たりコスト	総事業費	/	入居団体数	千円			352			
事業成果	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度		
		入居団体の移住・定住者数	4	名	/ 7	/ 6	2 / 5	/	/		
		現況値の時点	令和元年度			設定根拠		新規雇用や移住・定住を量的に表す指標とする。			
		入居団体による地域との協働事業数	16	件	/ 22	/ 20	3 / 18	/	/		
	現況値の時点	令和元年度			設定根拠		地域コミュニティの形成を量的に表す指標とする				
現況値の時点				設定根拠							
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	1不要・凍結 2国・県・広域が実施 3要改善 4現行どおり・拡充			4現行どおり・拡充						
	今後の事業の方向性、課題等	入居団体等相互又は地域との連携を推進し、地域の活性化や移住・定住の促進を図っていく。									
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	○勝浦市 清海小学校 コワーキング、民営シェアオフィス(運営会社のほかドローンスクールが入居) 郁文小学校 全日型通信制高校 ○南房総市 長尾小学校 民営シェアオフィス(運営会社のほかメディア広告会社等の複数社が入居)□ 丸小学校・幼稚園 官公庁の制服製造 和田給食センター 市内農水産物の商品開発、製造・加工 ○君津市 香木原小学校 ジビエ販売、キャンプ場 坂畑小学校 キャンプ場、ワーケーション施設、イベント会場 亀山中学校 キャンプ場、ワーケーション施設、イベント会場										
特記事項											

事業シート(概要説明書)

予算事業名	物産の販路拡大促進事業				事業開始年度		平成16年度				
	物産販路拡大促進事業				戦略 該当	○	市民提 案関連	○			
上位施策事業名	3-3 商工業の振興				5計No.		30306				
	農商工連携、経済交流と販路拡大の促進				5か年計画上の 事業期間(令和)		3~7				
根拠法令等					この事業の 全体計画						
関係個別計画名					担当課名		商工観光課				
事務区分	1自治事務/2法定受託事務		1自治事務		係名		商工振興係				
実施の背景	本市のイメージアップ、ブランド化を図るため各種団体や商工業者を中心に活動しており、各団体を支援することで一次産品の高付加価値化と販路促進による事業者の所得向上を図ることができる。										
目的 (何をどうしたいのか)	市と鴨川観光プラットフォーム株式会社が連携して、姉妹都市や友好交流都市等における物産展やアンテナショップ等にて本市特産品を販売することにより、地元産品のアピールと販路拡大や販売事業者等の所得向上を図る。										
事業概要	対象 (誰・何を 対象に)	市内商工業者					対象者数(全住民に対する割合)		1,900 人 (6.0 %)		
	実施方法	1直接実施									
		2業務委託(全部・一部)									
		3指定管理(指定管理者)									
		1補助金		直接補助の場合 鴨川観光プラットフォーム株式会社		間接補助の場合					
2貸付(貸付先)											
第4次5か年 計画の内容	鴨川観光プラットフォームとの連携により、友好都市等における物産展やインターネットを利用した販売事業等を実施する。										
事業内容 (手段、手法 など)	R5年度 (計画)	R4年度 (計画)	R3年度 (実績見込)	R2年度 (実績)	R元年度 (実績)						
		・物産交流事業補助金の交付 ・物産展等への参加	・物産交流事業補助金の交付 ・物産展等への参加	・物産交流協会補助金 373,875円 物産展参加件数							
関連事業 (同一目的 事業等)											
コスト	R5年度 (予算要求)		R4年度 (当初予算)		R3年度 (決算見込)		R2年度 (決算)		R元年度 (決算)		
	事業費合計		874 千円		199 千円		374 千円		1,600 千円		
	内訳		・物産交流協会補助金 700,000円		・物産交流協会補助金 194,400円		・物産交流協会補助金 373,875円				
	担当正職員	0 人	0.1 人	0.1 人	0.0 人	112 人					
	臨時職員等	報酬は事業費 欄に記載	報酬は事業費 欄に記載	報酬は事業費 欄に記載	報酬は事業費 欄に記載						
合計	0.0 人	0.1 人	0.1 人	0.0 人	112 人						
総事業費	0 千円		1,429 千円		754 千円		486 千円		千円		
財源 内訳	国県支出金	千円		千円		千円		千円		千円	
	地方債	千円		千円		千円		千円		千円	
	その他特財	千円		千円		150 千円		千円		千円	
	一般財源	0 千円		1,429 千円		604 千円		486 千円		千円	
	財源合計	0 千円		1,429 千円		754 千円		486 千円		千円	

事業シート(概要説明書)

予算事業名		物産の販路拡大促進事業						事業開始年度		平成16年度	
		物産販路拡大促進事業						戦略 該当	○	市民提 案関連	○
事業実績	活動実績	【活動指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度		
		物産展への参加店舗数(延べでなく単体)	2	店舗	/ 3	/ 3	1 / 2	/	/		
		現況値の時点	令和元年度			設定根拠		業種を問わず多種多様な店舗の参加を促す。			
		現況値の時点				設定根拠					
		現況値の時点				設定根拠					
		現況値の時点				設定根拠					
	単位当たりコスト	総事業費	/	物産展への参加店舗数	千円			754			
事業成果	成果(目標達成状況)	【成果指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度		
		物産展の参加店舗販売額	未集計	千円	/ 2,240	/ 1,920	194 / 1,600	/	/		
		現況値の時点	0			設定根拠		魅力ある商品の提供により売上額を伸ばす。			
		現況値の時点				設定根拠					
	現況値の時点				設定根拠						
事業の自己評価	自己評価(担当課による評価)	1不要・凍結 2国・県・広域が実施 3要改善 4現行どおり・拡充			4現行どおり・拡充						
	今後の事業の方向性、課題等	本市の特産品を市外に販売するなどの単純な利益追求だけが目的ではなく、本市地域資源の周知や観光PR事業なども推進しており、個々の事業者が個別に実施するよりも実効性が高い。また、地域ブランドの確立は一朝一夕ではなされないため長期にわたるプランニングが必要である。 鴨川市物産交流協会は、平成30年度をもって解散となったため、令和元年度以降の物産交流事業については、鴨川観光プラットフォームと連携し実施している。これまでの物産交流協会会員に限らず、幅広く市内商工業者を対象として事業を推進する。									
比較参考値(他自治体での類似事業の例など)	○館山市 姉妹都市や友好交流都市等における物産展等にて特産品を販売しているが直営で実施している。 ○南房総市 姉妹都市や友好交流都市等における物産展等にて特産品を販売しているが直営で実施している。 ○鋸南町 姉妹都市や友好交流都市等における物産展等にて特産品を販売しているが直営で実施している。										
特記事項	物産交流協会補助金:30年度(135万円)で終了。 友好交流都市等物産交流事業補助金:30年度(45万円)で終了。 本事業の令和3年度予算は、物産販売拡大促進事業(897千円)に予算計上している。										

事業シート(概要説明書)

<p>予算事業名</p> <p>中小企業等経営支援事業(新型コロナ対策)</p>		<p>事業開始年度</p> <p>平成16年度</p>	
<p>上位施策事業名</p>		<p>戦略該当</p> <p>×</p>	
<p>根拠法令等</p>		<p>市民提案関連</p> <p>×</p>	
<p>関係個別計画名</p>		<p>5計No.</p>	
<p>事務区分</p> <p>1自治事務/2法定受託事務 1自治事務</p>		<p>5か年計画上の事業期間(令和)</p>	
<p>実施の背景</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、事業者は休業等を余儀なくされ、売上げが大幅に減少し、経営の安定に支障が生じている。また、市内消費の落ち込みにより雇用労働環境や地域経済が悪化している。</p>		<p>この事業の全体計画</p>	
<p>目的(何をどうしたいのか)</p> <p>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、事業者の売上げの回復や雇用を維持することで、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止と社会経済活動の両立を目指す。また、子育て世帯に商品券を配布し、コロナ禍での経済的負担の軽減を図る。</p>		<p>担当課名</p> <p>商工観光課</p>	
<p>対象(誰・何を対象に)</p> <p>市内事業者</p>		<p>係名</p> <p>商工振興係</p>	
<p>実施方法</p> <p>1直接実施 1直接実施</p> <p>2業務委託(全部・一部)</p> <p>3指定管理(指定管理者)</p> <p>1補助金 直接補助の場合 市内中小企業等、子育て世帯 間接補助の場合 鴨川市商工会</p> <p>2貸付(貸付先)</p>		<p>対象者数(全住民に対する割合)</p> <p>人 (0.0 %)</p>	
<p>第4次5か年計画の内容</p>			
<p>事業内容(手段、手法など)</p>		<p>R5年度 (計画)</p>	<p>R4年度 (計画)</p> <p>キャッシュレス決済ポイント還元事業委託業務</p>
<p>関連事業(同一目的事業等)</p>		<p>R3年度 (実績見込)</p> <p>・地域商店・子育て世帯支援事業補助金交付 ・中小企業等事業継続支援金交付</p>	<p>R2年度 (実績)</p> <p>・中小企業資金融資保証料補給金 1,120,600円 保証料補給件数 中小企業資金融資利子補給金 2,933,862円 利子補給件数 小企業等経営改善資金利子補給金 7,243,364円 利子補給件数 中小企業資金融資預託貸付金 80,000,000円 中小企業資金融資未収補填金</p>
<p>事業概要</p>		<p>R元年度 (実績)</p>	
<p>コスト</p>		<p>R5年度 (予算要求)</p> <p>千円</p>	<p>R4年度 (当初予算)</p> <p>105,066 千円</p>
<p>事業費</p>		<p>R3年度 (決算見込)</p> <p>146,864 千円</p>	<p>R2年度 (決算)</p> <p>91,298 千円</p>
<p>内訳</p>		<p>R元年度 (決算)</p> <p>90,952 千円</p>	
<p>人件費</p>		<p>地域商店・子育て世帯支援事業補助金 86,348,389円 中小企業等事業継続支援金 60,500,000円 消耗品費 15,950円</p>	<p>中小企業資金融資保証料補給金 1,120,600円</p>
<p>担当正職員</p> <p>人 0 千円</p>		<p>0.3 人 1,666 千円</p>	<p>0.1 人 560 千円</p>
<p>臨時職員等</p> <p>報酬は事業費欄に記載</p>		<p>0.3 人 報酬は事業費欄に記載</p>	<p>人 千円</p>
<p>合計</p> <p>0.0 人</p>		<p>0.3 人</p>	<p>0.1 人 560 千円</p>
<p>総事業費</p> <p>0 千円</p>		<p>106,732 千円</p>	<p>91,858 千円</p>
<p>財源</p>		<p>49,016 千円</p>	<p>千円</p>
<p>内訳</p>		<p>千円</p>	<p>千円</p>
<p>国県支出金</p>		<p>千円</p>	<p>千円</p>
<p>地方債</p>		<p>千円</p>	<p>千円</p>
<p>その他特財</p>		<p>千円</p>	<p>80,000 千円</p>
<p>一般財源</p> <p>0 千円</p>		<p>106,732 千円</p>	<p>11,858 千円</p>
<p>財源合計</p> <p>0 千円</p>		<p>106,732 千円</p>	<p>91,858 千円</p>
		<p>148,530 千円</p>	<p>千円</p>
		<p>99,514 千円</p>	<p>千円</p>
		<p>148,530 千円</p>	<p>千円</p>
		<p>91,858 千円</p>	<p>千円</p>

事業シート(概要説明書)

予算事業名		中小企業等経営支援事業(新型コロナ対策)						事業開始年度		平成16年度		
								戦略 該当	×	市民提 案関連	×	
事業実績	活動実績	【活動指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度			
		地域商店・子育て世帯支援事業参加店舗数			/	/	269 / 269	/	/			
		現況値の時点			設定根拠		地域経済の循環を図る					
		中小企業等事業継続支援金申請件数			/	/	434 / 434	/	/			
		現況値の時点			設定根拠		市内事業所の事業継続を図る					
					/	/	/	/	/	/		
	現況値の時点			設定根拠								
	単位当たりコスト	総事業費	/	申請件数・店舗数	千円			152				
	事業成果	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度		
			地域商店・子育て世帯支援事業消費喚起額		十万	/	/	1,962 / 1,962	/	/		
現況値の時点					設定根拠							
中小企業等事業継続支援金支援金額				十万	/	/	605 / 605	/	/			
現況値の時点					設定根拠							
商工会会員数			1001	件	/	1015	/	1010	1022 / 1005	/	/	
現況値の時点			令和元年度		設定根拠		商工業を牽引する団体としての機能強化が必要。					
事業の自己評価	自己評価(担当課による評価)	1不要・凍結 2国・県・広域が実施 3要改善 4現行どおり・拡充			4現行どおり・拡充							
	今後の事業の方向性、課題等	新型コロナウイルス感染症の拡大により、売上げが減少した事業者の支援や落ち込んだ市内の消費を喚起するために実施したものであり、事業実施による市内経済の振興に一定の効果はあったと考える。 引き続き臨時交付金を活用した事業を実施し、市内の経済振興を図っていく。										
比較参考値(他自治体での類似事業の例など)	○館山市 中小企業融資返済元金助成金 90,681,070円 キャッシュレス決済ポイント還元事業補助金 19,874,733円 プレミアム商品券支援事業補助金 63,006,323円 中小企業等事業継続支援給付金 98,840,000円 ○南房総市 商工業等活性化給付金 45,220,000円 地域商工業等継続支援給付金 123,380,000円 地域商工業等経営活力創出支援金 19,540,000円											
特記事項												

事業シート(概要説明書)

予算事業名	観光事務費				事業開始年度		平成16年度			
					戦略 該当	×	市民提 案関連	×		
上位施策事業名					5計No.					
					5か年計画上の 事業期間(令和)					
根拠法令等	鴨川市地域おこし協力隊事業実施要綱			この事業の 全体計画						
関係個別計画名					担当課名	商工観光課				
事務区分	1自治事務/ 2法定受託事務		1自治事務		係名	観光振興係				
実施の背景	観光事業全般にかかる事務費。 地域おこし協力隊によるインバウンド需要の増加を図る。また、南房総地域半島振興広域連携促進協議会の観光振興事業により、本市を含む南房総地域への観光誘客を図る。									
目的 (何をどうしたいのか)	各種事業が効率的かつ効果的に行えるよう、観光事業全般に係る一般事務を適正に行う。 インバウンドを含む観光需要の増加を図り、市内経済の活性化に繋げる。									
事業概要	対象 (誰・何を 対象に)	市民、観光客				対象者数(全住民に対する割合)				
						人 (0.0 %)				
	実施方法	1直接実施		1直接実施						
		2業務委託(全部・一部)								
		3指定管理(指定管理者)								
		1補助金		直接補助の場合		間接補助の場合				
2貸付(貸付先)										
第4次5か年 計画の内容										
事業内容 (手段、手法 など)	R5年度 (計画)	R4年度 (計画)	R3年度 (実績見込)	R2年度 (実績)	R元年度 (実績)					
		各種協議会負担金 194,000円 その他観 光事務費600,000円	観光事務業務を行う会計 年度任用職員1,746,750 円 地域おこし協力隊の 委嘱1,654,210円 各種協 議会負担金304,250円 その他観光事務費 939,736円	駐車場管理、海岸美 化作業及び観光に係る 事務を行う。・駐車 場の維持管理 3,811,824円 駐車場収 容台数・海岸の美化 作業 661,610円 海岸 美化活動日数・その 他観光事務 1,925,445 円						
関連事業 (同一目的 事業等)										
コスト		R5年度 (予算要求)	R4年度 (当初予算)	R3年度 (決算見込)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)				
	事業費合計	千円	794 千円	4,645 千円	6,399 千円	9,907 千円				
	内訳	普通旅費411,000円 消耗品費 168,000円 駐車料21,000円 日本 自動車連盟負担金4,000円 日本 の森・滝・渚全国協議会負担金 36,000円 千葉県国際観光推進協 議会負担金80,000円 ちばプロ モーション協議会負担金10,000円 千葉県観光物産協会負担金27,000 円 全国「道の駅」連絡会負担金 20,000円 温泉所在都市協議会負 担金7,000円 自転車を活用したま ちづくりを推進する全国市区町村 長の会負担金10,000円		会計年度任用職員報酬1,590,470円 会計年 度任用職員期末手当118,730円 謝礼金 530,000円 地域おこし協力隊報酬金1,000,000 円 費用弁償210,410円 消耗品費133,176円 会計年度任用職員健康診断委託料15,700円 地域おこし協力隊支援委託料654,210円 公正 証書作成委託料88,000円 日本自動車連盟負 担金4,000円 日本の森・滝・渚全国協議会負 担金9,000円 観光客動態調査事業負担金 137,250円 千葉県国際観光推進協議会負担 金80,000円 ちばプロモーション協議会負担金 10,000円 千葉県観光物産協会負担金27,000 円 全国「道の駅」連絡会負担金20,000円 温 泉所在都市協議会負担金7,000円 自転車を 活用したまちづくりを推進する全国市区町村長 の会負担金10,000円		費用弁償 14,535円 消耗品費 207,909円 燃料費 64,865円 光熱 水費 686,570円 修繕料 671,016円 その他手数料 4,400 円 特定自主検査手数料 40,700円 自動車損害保険料 34,760円 傷害保険 料 33,550円 清掃等委託料 400,000円 妙の浦周辺観光施設維持管理委託料 150,000円 二日間駐車場管理委託料 50,000円 観光施設清掃整備委託料 121,550円 植木等管理委託料 73,200円 土地借上料 3,725,424円 観光施設整 備用材料 36,400円 日本の森・滝・渚全 国協議会負担金 30,000円 千葉県観光物産協会負担金 27,000円 全国「道の駅」連絡会負担金 20,000円 温泉所在都市協議会負担金 7,000円				
		担当正職員	人	0 千円	0.4 人 2,222 千円	0.2 人 1,111 千円	0.1 人 560 千円	人 千円		
		臨時職員等	人	報酬は事業費 欄に記載	0.0 人 報酬は事業費 欄に記載	1.0 人 報酬は事業費 欄に記載	5.0 人 1,892 千円	人 千円		
		合計	0.0 人		0.4 人	1.2 人	5.1 人 2,452 千円	人 千円		
総事業費	0 千円	3,016 千円	5,756 千円	8,851 千円	千円					
財源 内訳	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円				
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円				
	その他特財	千円	8 千円	8 千円	千円	千円				
			行政財産使用料	行政財産使用料	ふるさぽーと基金繰入金					
	一般財源	0 千円	3,008 千円	5,748 千円	8,851 千円	千円				
	財源合計	0 千円	3,016 千円	5,756 千円	8,851 千円	千円				

事業シート(概要説明書)

予算事業名		観光事務費							事業開始年度			
									平成16年度			
									戦略 該当	×	市民提 案関連	×
事業実績	活動実績	【活動指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度			
		協議会加盟件数	8	件	/	/	8	/	/			
			現況値の時点		令和3年度		設定根拠	加盟協議会件数の継続				
		地域おこし協力隊委嘱者数	1	名	/	/	1	1	/	/		
			現況値の時点		令和3年度		設定根拠	4月1日現在の委嘱者数				
			現況値の時点				設定根拠					
	単位当たり コスト	総事業費	/	協議会加盟件 数	千円			720				
	事業成果	成果 (目標達成 状況)	【成果指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度		
			協議会への加盟件数	8	件	/	/	8	/	/		
				現況値の時点		令和3年度		設定根拠	加盟協議会件数の継続			
地域おこし協力隊による活動日 数			153	日	/	/	153	/	/	/		
			現況値の時点		令和3年度		設定根拠	活動日数				
			現況値の時点				設定根拠					
事業の 自己評価	自己評価 (担当課 による評価)	1不要・凍結 2国・県・広域が実施 3要改善 4現行どおり・拡充				4現行どおり・拡充						
	今後の事業 の方向性、課 題等	<p>・観光事業全般に係る一般事務の適性な執行に努める。</p> <p>・地域おこし協力隊による活動については、当初の目的が外国人観光客の誘致であったが、感染症の影響により、外国人の誘客が困難な状況となり、令和3年度の成果については限定的であった。なお、令和3年8月をもって隊員の委嘱期間は終了している。</p> <p>・観光動向調査負担金については、南房総地域半島振興広域連携促進協議会の事業に係る負担金で、平成30年度に実施した観光マーケティングデータに基づき、観光周遊促進事業を行ったものである。観光周遊事業については、感染症の影響により、規模縮小して実施したため、大きな成果は得られていないが、平成30年度のマーケティング調査結果については、今後の観光戦略を検討する上で活用していく。なお、当該事業は令和3年度をもって終了している。</p>										
比較参考値 (他自治体での 類似事業の例 など)		<p>観光動向調査負担金(令和3年度)</p> <p>・総事業費 1,647,000円 (1/2国補助金・1/2市町負担金)</p> <p>鴨川市、南房総市、勝浦市、いすみ市、大多喜町、御宿町 各137,250円</p>										
特記事項		<p>令和2年度までは、市営駐車場の維持管理や海岸美化活動支援に係る業務が本事業に含まれていたが、令和3年度に事業分割を行い、観光事務費、市営駐車場維持管理事業及び海岸美化活動支援事業に分割されている。</p>										

事業シート(概要説明書)

予算事業名	海水浴場運営事業				事業開始年度		平成16年度		
					戦略 該当	×	市民提 案関連	×	
上位施策事業名	3-4 観光・リゾートの振興				5計No.		30401		
	観光・交流資源の整備充実				5か年計画上の 事業期間(令和)		3~7		
根拠法令等	鴨川市安全で安心な海水浴場の確保に関する条例			この事業の 全体計画					
関係個別計画名					担当課名		商工観光課		
事務区分	1自治事務/2法定受託事務		1自治事務		係名		観光振興係		
実施の背景	南房総において、夏は観光のハイシーズンであり、中でも、海水浴は、古くから夏の観光客誘致のための重要なコンテンツとなっている。こうした中で本市においては、市内に5箇所の海水浴場を開設し、安全、安心な海水浴環境の整備に努めている。								
目的 (何をどうしたいのか)	安全、安心、そして快適な海水浴場環境を整備することにより、夏の観光客誘致を図る。 なお、コロナ禍において、海水浴場内における感染対策を行うため、海水浴場の開設・運営従事者等が使用する感染症対策用品を購入する。								
事業概要	対象 (誰・何を 対象に)	海水浴客				対象者数(全住民に対する割合)			
						人 (0.0 %)			
	実施方法	1直接実施		1直接実施					
		2業務委託(全部・一部)		千葉県レクリエーション都市開発(株) 他					
		3指定管理(指定管理者)							
1補助金		直接補助の場合		間接補助の場合					
第4次5か年 計画の内容	海水浴場監視体制を強化するため、ライフセーバー確保や監視所等の施設整備を行う。あわせて、鴨川市安全で安心な海水浴場の確保に関する条例に基づく条例違反者への指導及び周知を行う。								
事業内容 (手段、手法 など)	R5年度 (計画)	R4年度 (計画)	R3年度 (実績見込)	R2年度 (実績)	R元年度 (実績)				
	●監視員、監視監、清掃員等の雇用8,637千円●監視業務委託5,429千円(天津小湊地区のみ)●海水浴場設備等設置撤去等業務委託(放送設備、シャワー、タワー、ブイローブ)1,857千円 ●清掃、警備委託1,217千円 ●海水浴場整備作業委託1,213千円 ●駐車場用地、宿舍借上778千円 ●その他経費3,081千円	●監視員等の雇用4,021千円 ●監視業務委託13,632千円 ●海水浴場設備等設置撤去等業務委託(放送設備、シャワー、タワー、ブイローブ)1,295千円 ●清掃、警備委託1,217千円 ●海水浴場整備作業委託1,213千円 ●駐車場用地、宿舍借上778千円 ●その他経費3,081千円	●監視員等の雇用5,983,277円 ●監視業務委託(天津小湊地区のみ)5,269,000円 ●海水浴場設備等設置撤去等業務委託(放送設備、シャワー、ブイローブ)917,936円 ●清掃、警備委託695,792円 ●駐車場用地、宿舍借上1,367,600円 ●その他経費4,516,635円	令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、市内海水浴場を全て不開設とした。各海岸においては安全対策として、下記事業を実施した。・巡回パトロール及び交通誘導501,893円 ・海岸監視業務4,972,000円 ・海岸清掃業務201,593円 ・海岸への設備設置(トイレ、シャワー、AED、駐車場 など)544,840円 ・注意喚起看板等の設置542,152円					
関連事業 (同一目的 事業等)									
コスト		R5年度 (予算要求)	R4年度 (当初予算)	R3年度 (決算見込)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)			
	事業費合計	千円	25,799 千円	18,750 千円	6,762 千円	24,006 千円			
	内訳	報酬(監視監、清掃員等)3,919千円・旅費(監視監、清掃員等の費用弁償)102千円・需用費(消耗品、燃料、光熱水、修繕等)1,295千円・役務費(開栓手数料)27千円・委託料(海岸清掃、警備、放送設備設置撤去、海岸監視、シャワー水道設備設置撤去、監視タワー設置撤去、海岸整地、ブイローブ設置撤去)17,919千円・使用料及び賃借料(電話・土地・住宅・自動車・資材・船舶・AED)2,381千円・原材料費113千円・備品購入費43千円		報酬(監視監、清掃員等)5,936,510円・旅費(監視監、清掃員等の費用弁償)46,767円・需用費(消耗品、燃料、光熱水、修繕等)1,138,919円・役務費(開栓手数料)17,600円・委託料(海岸清掃、警備、放送設備設置撤去、海岸監視、シャワー水道設備設置撤去、ブイローブ設置撤去)6,882,728円・使用料及び賃借料(電話・土地・住宅・自動車・機械器具・資材・船舶・重機・AED)3,914,366円・原材料費192,350円・備品購入費621,000円		費用弁償(監視監、清掃員)27,220円・需用費(消耗品、燃料、光熱水、修繕等)499,442円・役務費(開栓手数料、保険)15,390円・委託料(海岸清掃、警備、シャワー、海岸監視)5,564,734円・使用料及び賃借料(土地、自動車、資材、重機、AED)573,712円・原材料費(整備材料)81,980円			
		担当正職員	0 人	0.6 人	0.5 人	0.8 人	0 人		
		臨時職員等	0 人	32.0 人	41.0 人	16.0 人	0 人		
合計	0.0 人	32.6 人	41.5 人	16.8 人	0 人				
総事業費	0 千円	29,131 千円	21,527 千円	12,375 千円	0 千円				
財源 内訳	国県支出金	千円	千円	215 千円	千円	千円			
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円			
	その他特財	千円	千円	9,400 千円	千円	千円			
	0	0	ふるさぼーと基金繰入金 9400	ふるさぼーと基金繰入金					
	一般財源	0 千円	29,131 千円	11,912 千円	12,375 千円	千円			
財源合計	0 千円	29,131 千円	21,527 千円	12,375 千円	千円				

事業シート(概要説明書)

予算事業名		海水浴場運営事業						事業開始年度		平成16年度	
								戦略 該当	×	市民提 案関連	×
事業実績	活動実績	【活動指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度		
		指導件数	361	件	/ 0	/ 0	485 / 0	/	/		
		現況値の時点		令和元年度		設定根拠		指導件数(指導対象)の減少を目指す			
		救護等件数	126	件	/ 0	/ 0	4 / 0	/	/		
		現況値の時点		令和元年度		設定根拠		ライフセーバーによる救護活動状況			
		海水浴場開設箇所数	4	箇所	/ 0	/ 0	4 / 0	/	/		
	現況値の時点		令和元年度		設定根拠		海水浴場の開設状況				
	感染対策用品(マスク)購入数量	3000	枚	/ 0	/ 0	3,000 / 0	/	/			
	現況値の時点		令和3年度		設定根拠		新型コロナウイルス感染症対策の実施				
	単位当たり コスト	総事業費	/	指導件数	千円			44			
事業成果 (目標達成 状況)	【成果指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度			
	海水浴場の利用者数	85085	人	/ 86000	/ 86000	11,930 / 85085	/	/			
	現況値の時点		令和元年度		設定根拠		海水浴客の増加				
	水難事故発生件数	0	件	/ 0	/ 0	1 / 0	/	/			
	現況値の時点		令和元年度		設定根拠		エリア内水難事故発生件数を0人に維持する				
	新型コロナウイルス感染症対策を実施した海水浴場箇所数	4	箇所	/ 0	/ 0	4 / 0	/	/			
現況値の時点		令和3年度		設定根拠		海水浴場でのコロナウイルス感染症対策の実施					
事業の自己評価	自己評価 (担当課 による評価)	1不要・凍結 2国・県・広域が実施 3要改善 4現行どおり・拡充			3要改善						
	今後の事業 の方向性、課題等	海水浴場については、これまでどおりライフセーバーの設置等により利用者の安全を図るとともに、各海水浴場の特色を生かしながらSNSも含めた情報発信により誘客増加を図る。また、各海水浴場において、マーケティングを実施し分析を行い、海水浴以外の新たなコンテンツ提供の試みや各海水浴場の活用方法を検討する。海水浴場は夏の重要な観光コンテンツであり、廃止に対する地域の反対も大きい。時間をかけながら、利用客の少ない海水浴場の統廃合についても検討する。コロナ禍においては、海水浴場内の感染対策はもとより、HPやSNS等により事前の注意喚起や浴場ごとの混雑状況などを発信することで、来訪者の安心安全を図る。									
比較参考値 (他自治体での 類似事業の例 など)	令和2年度においては、関東全域で海水浴場が不開設となった。										
特記事項	令和3年度においては、城崎海岸を除いた4海岸(江見・太海・前原・内浦)にて海水浴場を開設したが、緊急事態宣言の発令に伴い、途中閉鎖している。(開設期間7/22~8/1までの11日間)										

事業シート(概要説明書)

予算事業名	観光街路灯整備・維持管理事業				事業開始年度		平成25年度		
	観光街路灯維持管理事業				戦略	×	市民提案関連	×	
上位施策事業名	3-4 観光・リゾートの振興				5計No.		30405		
	観光・交流資源の整備充実				5か年計画上の事業期間(令和)		3~7		
根拠法令等	鴨川市ロマンチックタウン街路灯の設置及び管理に関する要綱、鴨川市観光街路灯建設事業費補助金交付要綱			この事業の全体計画					
関係個別計画名					担当課名		商工観光課		
事務区分	1自治事務/ 2法定受託事務		1自治事務		係名		観光振興係		
実施の背景	本市においては、合併前より3つの街路灯協会により、街路灯の維持管理が行われてきた。合併後、3つの街路灯協会の合併を検討した経緯もあるが、諸条件の違いにより困難であったため、せめて、3つの街路灯協会で統一した街路灯を設置することが合意された。こうした中で、天津地区及び小湊地区については、新たな統一された街路灯へ更新されたが、鴨川地区については、街路灯協会の会員数の減少が激しく、協会主導での更新が困難となったことから、市にて更新を行うこととし、更新整備を進めている。								
目的(何をどうしたいのか)	観光街路灯の維持管理を適正に行い、観光地としてのイメージアップを図るとともに、安全・安心な住空間を提供する。また、老朽化した街路灯の更新の際は、設置箇所の見直しや防犯灯や道路照明灯への切り替えなどの検討を行い、更新整備の適正化を図る。								
事業概要	対象(誰・何を対象に)	鴨川街路灯協会、天津街路灯協会、小湊街路灯協会、市民					対象者数(全住民に対する割合)		人 (0.0 %)
	実施方法	1直接実施	1直接実施						
		2業務委託(全部・一部)	鴨川市街路灯保守協会 他						
		3指定管理(指定管理者)							
		1補助金	直接補助の場合	各街路灯協会			間接補助の場合		
	2貸付(貸付先)								
第4次5か年計画の内容	・鴨川地区の街路灯更新整備 ・維持管理費用の一部を補助								
事業内容(手段、手法など)	R5年度 (計画)	R4年度 (計画)	R3年度 (実績見込)	R2年度 (実績)	R元年度 (実績)				
	◆鴨川地区街路灯リース料:9,842千円/年※保守含む※10年) ◆街路灯協会補助金:1,178千円(天:874千円、小:304千円) ◆維持管理費:2,000千円(電:1,650千円、修:350千円)	◆鴨川地区街路灯維持管理10,639千円 ◆LED街路灯整備計画策定業務委託料6,974千円 ◆天津街路灯協会補助金874千円 ◆小湊街路灯協会補助金304千円	◆街路灯協会補助金1,178,000円 ◆維持管理費11,268,306円	・街路灯維持管理費5,237,179円 管理基数:711基 ・天津街路灯協会補助金874,000円 管理基数:437基 ・小湊街路灯協会補助金304,000円 管理基数:152基 ・鴨川街路灯協会補助金3,199,000円 管理基数:711基					
関連事業(同一目的事業等)									
コスト		R5年度 (予算要求)	R4年度 (当初予算)	R3年度 (決算見込)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)			
	事業費合計	千円	18,791 千円	12,446 千円	9,614 千円	10,431 千円			
	内訳		光熱水費(電気)8,904千円 修繕料306千円 損害賠償保険料(当て逃げ保険)29千円 LED街路灯整備計画策定業務委託料6,974千円 街路灯撤去工事1,400千円 天津街路灯協会補助金874千円 小湊街路灯協会補助金304千円	光熱水費(電気)8,387,196円 修繕料2,853,060円 損害賠償保険料(当て逃げ保険)28,050円 天津街路灯協会補助金874,000円 小湊街路灯協会補助金304,000円	街路灯電気代3,719,979円 街路灯修繕(球切れ交換等)1,487,500円 損害賠償保険料(当て逃げ保険)29,700円 天津街路灯協会補助金874,000円 小湊街路灯協会補助金304,000円 鴨川街路灯協会補助金3,199,000円				
	人件費								
	担当正職員	0 人	0.3 人	0.2 人	0.1 人	560 千円			
	臨時職員等	0 人	0.0 人	0.0 人	0 人	千円			
合計	0.0 人	0.3 人	0.2 人	0.1 人	560 千円				
総事業費	0 千円	20,457 千円	13,557 千円	10,174 千円	千円				
財源内訳	国県支出金	千円	千円	千円	千円				
	地方債	千円	千円	千円	千円				
	その他特財	千円	千円	千円	千円				
	一般財源	0 千円	20,457 千円	13,557 千円	10,174 千円	千円			
	財源合計	0 千円	20,457 千円	13,557 千円	10,174 千円	千円			

事業シート(概要説明書)

予算事業名		観光街路灯整備・維持管理事業						事業開始年度		平成25年度		
		観光街路灯維持管理事業						戦略 該当	×	市民提 案関連	×	
事業実績	活動実績	【活動指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度			
		街路灯更新件数(鴨川地区)	0	基	/ -	/ -	0 / 711	/	/			
			現況値の時点	令和元年度			設定根拠	維持管理コストの削減を図るため単年度で更新を行う。				
		補助対象街路灯基数(天津地区)	437	基	/ 437	/ 437	437 / 437	/	/			
			現況値の時点	令和元年度			設定根拠	現状維持				
		補助対象街路灯基数(小湊地区)	152	基	/ 152	/ 152	152 / 152	/	/			
		現況値の時点	令和元年度			設定根拠	現状維持					
					/	/	/	/	/			
		現況値の時点				設定根拠						
	単位当たりコスト	総事業費	/	補助対象街路灯基数	千円			23				
事業成果	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度			
		LED照明灯設置基数(鴨川地区)	0	基	/ -	/ -	0 / 711	/	/			
			現況値の時点	令和元年度			設定根拠	維持管理コストの削減を図るため単年度で更新を行う。				
					/	/	/	/	/			
			現況値の時点				設定根拠					
事業の自己評価	自己評価(担当課による評価)	1不要・凍結 2国・県・広域が実施 3要改善 4現行どおり・拡充			3要改善							
	今後の事業の方向性、課題等	<p>天津・小湊地区は、各街路灯協会を主体として、平成25年から26年にかけて街路灯の更新整備が行われ維持管理を行っている。しかし、各街路灯協会の会員数は減少傾向にあり、今後、街路灯の維持管理が困難になる可能性があるとの報告を受けており、協会主導による街路灯維持管理の方向性が課題となっている。</p> <p>旧鴨川市域に設置されている街路灯については、街路灯協会の会員が年々減少しているなか、老朽化が著しい街路灯を協会にて維持管理していくことに限界を迎えていたことから、令和3年度からは市が直接維持管理を行うこととなり、鴨川市街路灯協会については令和3年10月22日をもって解散となった。</p> <p>なお、老朽化の著しい旧鴨川市域設置の街路灯の更新については、適正な整備更新が行われるよう、LED街路灯への整備計画を策定したうえで、街路灯の更新を進めていく。</p>										
比較参考値(他自治体での類似事業の例など)	<p>【平成28年度～参考】近隣自治体の観光街路灯設置状況</p> <p>勝浦市 観光街路灯無し(防犯灯、道路照明灯、商店街の照明(街路灯組合))</p> <p>館山市 観光街路灯無し(防犯灯、道路照明灯)</p> <p>南房総市 観光街路灯無し(全てLED化し、防犯灯として建設課で一元管理) ※富山地区に農林水産省補助金を活用した街路灯あり</p>											
特記事項												

事業シート(概要説明書)

予算事業名	広域連携事業				事業開始年度		平成16年度						
					戦略 該当	○	市民提 案関連	×					
上位施策事業名	3-4 観光・リゾートの振興 観光客受け入れ態勢強化				5計No.		30412						
					5か年計画上の 事業期間(令和)		3~7						
根拠法令等	-				この事業の 全体計画								
関係個別計画名					担当課名		商工観光課						
事務区分	1自治事務/2法定受託事務		1自治事務		係名		観光まちづくり推 進係						
実施の背景	市域を越えた広域エリアを観光地として捉え、他市町と連携したプロモーション等を展開していくことで、魅力ある情報を効果的に発信できるほか、費用及び事務手続きの点からも市単独ではなく広域的に実施することが効率的である。												
目的 (何をどうしたいの か)	南房総観光連盟、外房観光連盟、宿泊・滞在型観光推進協議会など広域的な連携による観光キャンペーン等を実施し、観光誘客を図る。												
事業概要	対象 (誰・何を 対象に)	国内観光客及び外国人観光客					対象者数(全住民に対する割合)		人 (0.0 %)				
	実施方法	1直接実施											
		2業務委託(全部・一部)											
		3指定管理(指定管理者)											
		1補助金	直接補助の場合 各広域連携協議会			間接補助の場合							
2貸付(貸付先)													
第4次5か年 計画の内容	宿泊・滞在型観光推進事業 その他広域連携事業												
事業内容 (手段、手法 など)	R5年度 (計画)	R4年度 (計画)	R3年度 (実績見込)	R2年度 (実績)	R元年度 (実績)								
	南房総観光連盟、外房観光連盟、宿泊・滞在型観光推進協議会による各種観光誘客事業などの実施	南房総観光連盟、外房観光連盟、宿泊・滞在型観光推進協議会による各種観光誘客事業などの実施	宿泊・滞在型観光推進協議会(安房3市1町及び富津市)、南房総観光連盟(安房3市1町)及び外房観光連盟(鴨川市、勝浦市、いすみ市、大多喜町及び御宿町)での観光プロモーション等事業を広域的に実施した。	宿泊・滞在型観光推進協議会(鴨川市、館山市、南房総市、鏡南町及び富津市)、南房総観光連盟(鴨川市、館山市、南房総市及び鏡南町)及び外房観光連盟(鴨川市、勝浦市、いすみ市、大多喜町及び御宿町)での観光プロモーション等事業を広域的に実施する。 ・宿泊・滞在型観光推進協議会 780,000円 実施事業数 東京湾フェリーと連携した各種キャンペーン、各種モニターツアー、実証ツアーを行う。 ・南房総観光連盟 330,000円 実施事業数 観光PR、サイクルリズム、観光パンフレット等の作成を行う。 ・外房観光連盟 115,000円 実施事業数									
関連事業 (同一目的 事業等)													
コスト	R5年度 (予算要求)		R4年度 (当初予算)		R3年度 (決算見込)		R2年度 (決算)		R元年度 (決算)				
	事業費合計		千円 1,245		千円 1,220		千円 1,225		千円 1,245				
	内訳		宿泊・滞在型観光推進協議会負担金 790,000円 南房総観光連盟負担金 250,000円 外房観光連盟負担金 115,000円 県外視察研修負担金 90,000円		宿泊・滞在型観光推進協議会負担金 780,000円 南房総観光連盟負担金 325,000円 外房観光連盟負担金 115,000円		宿泊・滞在型観光推進協議会負担金 780,000円 南房総観光連盟負担金 330,000円 外房観光連盟負担金 115,000円						
	担当正職員	人 0	千円	0.5	人 2,777	千円	0.3	人 1,666	千円	0.6	人 3,361	千円	
	臨時職員等	人	報酬は事業費欄に記載	人	報酬は事業費欄に記載	人	報酬は事業費欄に記載	人		人		千円	
合計	0.0	人		0.5	人		0.3	人		0.6	人	3,361	千円
総事業費	0 千円		4,022 千円		2,886 千円		4,586 千円						
財源 内訳	国県支出金	千円		千円		千円		千円		千円			
	地方債	千円		千円		千円		千円		千円			
	その他特財	千円		千円		千円		千円		千円			
	一般財源	0 千円		4,022 千円		2,886 千円		4,586 千円		千円			
	財源合計	0 千円		4,022 千円		2,886 千円		4,586 千円		千円			

事業シート(概要説明書)

予算事業名		広域連携事業						事業開始年度		平成16年度	
								戦略 該当	○	市民提 案関連	×
事業実績	活動実績	【活動指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度		
		広域連携により実施した年間事業数	26	回	/ 30	/ 30	11 / 30	/	/		
			現況値の時点		令和元年度		設定根拠	キャンペーン以外の実施事業数			
		観光宣伝キャンペーンの年間実施数	31	回	/ 25	/ 23	3 / 20	/	/		
			現況値の時点		令和元年度		設定根拠	広域連盟等によるキャンペーン実施数			
			現況値の時点				設定根拠				
			現況値の時点				設定根拠				
単位当たりコスト	総事業費	/	広域連携により実施した年間事業数	千円			262				
事業成果	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度		
		観光入込客数	2477	千人	/ 2789	/ 2656	1993 / 2415	/	/		
			現況値の時点		令和元年度		設定根拠	旅行ニーズの変化による旅行者増			
		宿泊客数	691	千人泊	/ 676	/ 614	497 / 512	/	/		
			現況値の時点		令和元年度		設定根拠	旅行ニーズの変化による旅行者増			
	現況値の時点				設定根拠						
事業の自己評価	自己評価(担当課による評価)	1不要・凍結 2国・県・広域が実施 3要改善 4現行どおり・拡充			3要改善						
	今後の事業の方向性、課題等	市単独ではなく広域的に連携することで、効率的な事業実施が可能となっているため、本事業は継続していく。一方で、南房総観光連盟と宿泊・滞在型観光推進協議会の構成団体のほとんどが重複しているため、両団体の役割の整理は必要と考える。また、本市に訪問する観光客の動態を調査し現状を把握することで、既存の枠に囚われない新たな観光プロモーション戦略を検討する必要もある。さらには、観光プロモーションの担い手として、行政と観光プラットフォーム、観光協会との役割の棲み分けについても検証していく必要がある。									
比較参考値(他自治体での類似事業の例など)	各連盟の負担金一覧 ・宿泊・滞在型観光推進協議会負担金(館山市1,100,000円、富津市1,050,000円、鴨川市780,000円、南房総市890,000円、鋸南町180,000円) ・南房総観光連盟負担金(館山市325,000円、鴨川市325,000円、南房総市345,000円、鋸南町220,000円) ・外房観光連盟負担金(鴨川市115,000円、勝浦市90,000円、いすみ市90,000円、御宿町70,000円、大多喜町45,000円)										
特記事項	令和2年度は南房総観光連盟、令和4年度及び5年度は宿泊・滞在型観光推進協議会の事務局を鴨川市が担当しており、これに伴い正職員の人工が増減している。										

事業シート(概要説明書)													
予算事業名	地域力創造アドバイザー招致事業										事業開始年度		
											戦略 該当	×	市民提 案関連
上位施策事業名											5計No.		
											5か年計画上の 事業期間(令和)		
根拠法令等	この事業の 全体計画												
関係個別計画名											担当課名	商工観光課	
事務区分	1自治事務/2法定受託事務		1自治事務								係名	観光振興係	
実施の背景	2021年の日蓮生誕800年に向け、地域力創造アドバイザーを招聘し、海中に沈んでいるとされている日蓮生誕の地の調査を行い、これを特定することにより、新たな観光資源としての開発、商品化を図ることとした。												
目的 (何をどうしたいの か)	日蓮生誕800年を契機に、コロナ禍における新たな観光資源の創出に向けた事業を推進し、観光地鴨川のイメージアップと更なる誘客を図る。												
事業概要	対象 (誰・何を 対象に)	市民、観光客等										対象者数(全住民に対する割合)	
	実施方法	1直接実施											
		2業務委託(全部・一部) 日蓮聖人ご降誕800年観光客誘致委員会											
		3指定管理(指定管理者)											
		1補助金 直接補助の場合 間接補助の場合 2貸付(貸付先)											
第4次5か年 計画の内容													
事業内容 (手段、手法 など)	R5年度 (計画)	R4年度 (計画)	R3年度 (実績見込)	R2年度 (実績)	R元年度 (実績)								
		【繰越分】 ・日蓮聖人御降誕800 年記念事業の実施(シン ポジウムの開催) 570,491円	・日蓮聖人御降誕800年 記念事業の実施(シンポ ジウム開催準備) 337,009円	・日蓮上人生誕地跡地 調査 5,000,000円 調 査日数									
関連事業 (同一目的 事業等)													
コスト		R5年度 (予算要求)	R4年度 (当初予算)	R3年度 (決算見込)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)							
	事業費合計	千円	570 千円	337 千円	5,000 千円	5,124 千円							
	内訳	【繰越分】 ・日蓮聖人御降誕800 年記念事業委託料 570,491円											
		・日蓮聖人御降誕800年 記念事業実施業務 337,009円											
	人件費	担当正職員	0 人	0.1 人	0.1 人	0.1 人	0.1 人	560 千円					
		臨時職員等	報酬は事業費 欄に記載	0.0 人	報酬は事業費 欄に記載	0.0 人	報酬は事業費 欄に記載	千円					
合計		0.0 人	0.1 人	0.1 人	0.1 人	560 千円	千円						
総事業費	0 千円	1,125 千円	892 千円	5,560 千円									
財源 内訳	国県支出金	千円	千円	337 千円	千円	千円							
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円							
	その他特財	千円	千円	千円	3,905 千円	千円							
	一般財源	0 千円	1,125 千円	555 千円	1,655 千円	千円							
	財源合計	0 千円	1,125 千円	892 千円	5,560 千円	千円	千円						

事業シート(概要説明書)

予算事業名		地域力創造アドバイザー招致事業						事業開始年度			
								戦略 該当	×	市民提 案関連	×
事業実績	活動実績	【活動指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度		
		地域力創造アドバイザー招致回数		回	/	/	0 /	/	/		
		現況値の時点			設定根拠						
				/	/	/	/	/			
		現況値の時点			設定根拠						
				/	/	/	/	/			
	単位当たりコスト	総事業費	/	地域力創造アドバイザー招致回数	千円						
事業成果	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度		
		シンポジウム開催回数		回	/	/	0 /	/	/		
		現況値の時点			設定根拠						
				/	/	/	/	/			
	現況値の時点			設定根拠							
自己評価 (担当課による評価)	1不要・凍結 2国・県・広域が実施 3要改善 4現行どおり・拡充				4現行どおり・拡充						
今後の事業の方向性、課題等	日蓮聖人生誕地の海底調査結果を踏まえたシンポジウムを開催し、広く情報発信を行うとともに、観光地としての地域住民の意識向上、観光コンテンツとしての活用を推進する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響によりシンポジウムの開催を延期し、契約変更により2カ年事業に変更し、シンポジウムは次年度開催となった。 なお、資料作成などのシンポジウムに向けた事前準備は、令和3年度に完了している。										
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	館山市 該当なし 南房総市 該当なし										
特記事項	令和3年度事業を次年度に繰越。(R4年度入力値はR3繰越分)										

事業シート(概要説明書)

予算事業名	市営駐車場維持管理事業				事業開始年度	平成16年度					
					戦略該当	×		市民提案関連	×		
上位施策事業名	3-4 観光・リゾートの振興 観光・交流資源の整備充実				5計No.	30402					
					5か年計画上の事業期間(令和)	3~7					
根拠法令等	鴨川市営駐車場の設置及び管理に関する条例			この事業の全体計画							
関係個別計画名					担当課名	商工観光課					
事務区分	1自治事務/ 2法定受託事務		1自治事務		係名	観光振興係					
実施の背景	生活様式の変化により、自家用車で本市を訪れる観光客等が増えて交通量が増加したことから、市営駐車場を整備し適正な維持管理を行い、道路交通の円滑化を図り、もって市民、事業者、観光客等の利便性の向上に資する必要性が生じたことから。										
目的(何をどうしたいのか)	市民や事業者、観光客のための駐車場を整備することで、利便性の確保、商工、観光振興の向上を図る。										
事業概要	対象(誰・何を対象に)	市民、事業者、観光客							対象者数(全住民に対する割合)		
									人 (0.0 %)		
	実施方法	1直接実施		1直接実施							
		2業務委託(全部・一部)		芝町内会、(公社)鴨川市シルバー人材センター							
		3指定管理(指定管理者)									
	1補助金		直接補助の場合		間接補助の場合						
	2貸付(貸付先)										
第4次5か年計画の内容	市民や事業者、観光客のための駐車場を整備する。あわせて、市営駐車場の維持管理計画の策定に向けて有料化を検討する。										
事業内容(手段、手法など)	R5年度 (計画)	R4年度 (計画)	R3年度 (実績見込)	R2年度 (実績)	R元年度 (実績)						
	●駐車場用地に係る土地借上料(中央通り296千円、小湊駅前3,683千円、二日間18千円)●清掃委託料等(二日間50千円、芝浜13千円)●駐車場街灯電気料(中央通り16千円)●原材料48千円●市営駐車場の有料化を推進する。	●駐車場用地の借上3,997千円(二日間17,376円、小湊駅前3,683,100円、中央通り296,400円)●清掃等の委託112千円●二日間駐車場管理50千円●その他維持管理費91千円●市営駐車場の有料化検討	●駐車場用地の借上3,996,876円(二日間17,376円、小湊駅前3,683,100円、中央通り296,400円)●清掃等の委託112,140円(二日間50,000円、芝浜16,540円、中央通り45,600円)●その他維持管理費212,453円(消耗品、電気料、修繕等)	●中央通り駐車場用地に係る土地借上料296,400円 月平均利用台数 ●中央通り駐車場街灯電気料14,036円 ※中央通り駐車場街灯電気料14,036円は商工事務費に計上							
関連事業(同一目的事業等)											
コスト		R5年度 (予算要求)	R4年度 (当初予算)	R3年度 (決算見込)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)					
	事業費合計	千円	4,250 千円	4,321 千円	310 千円	297 千円					
	内訳		消耗品費27千円 光熱水費16千円 清掃等委託料112千円 二日間駐車場管理委託料50千円 土地借上料3,997千円 観光施設整備用材料48千円	消耗品費19,646円 光熱水費15,201円 修繕料136,030円 二日間駐車場管理委託料50,000円 観光施設清掃整備委託料62,140円(中央通り45,600円、芝浜16,540円) 土地借上料3,996,876円(二日間17,376円、小湊駅前3,683,100円、中央通り296,400円) 観光施設整備用材料41,576円	●中央通り駐車場用地に係る土地借上料296,400円						
	人件費	担当正職員	0 人 千円	0.2 人 1,111 千円	0.2 人 1,111 千円	0.0 人 0 千円					
		臨時職員等	報酬は事業費欄に記載	報酬は事業費欄に記載	報酬は事業費欄に記載						
	合計	0.0 人	0.2 人	0.2 人	0.0 人						
	総事業費	0 千円	5,361 千円	5,432 千円	310 千円	千円					
財源内訳	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円					
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円					
	その他特財	千円	604 千円	588 千円	千円	千円					
	一般財源	0 千円	4,757 千円	4,844 千円	310 千円	千円					
	財源合計	0 千円	5,361 千円	5,432 千円	310 千円	千円					

事業シート(概要説明書)

予算事業名		市営駐車場維持管理事業						事業開始年度		平成16年度	
								戦略 該当	×	市民提 案関連	×
事業実績	活動実績	【活動指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度		
		駐車可能台数 ①芝浜125②二日間73③清澄一15④清澄二121⑤小湊160⑥西口38⑦中央39	571	台	/ 571	/ 571	571 / 571	/	/		
		現況値の時点	令和元年度		設定根拠		市営駐車場の駐車可能台数				
		有料化台数	39	台	/ 39	/ 39	12 / 39	/	/		
		現況値の時点	令和元年度		設定根拠		有料化を達成できた台数				
		管理している駐車場の数	7	箇所	/ 0	/ 0	7 / 7	/	/		
	現況値の時点	令和元年度		設定根拠		市営駐車場の箇所数					
		0	0	/ 0	/ 0	/ 0	/	/			
	現況値の時点	0		設定根拠		0					
	単位当たりコスト	総事業費	/	駐車可能台数	千円			10			
事業成果	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度		
		駐車可能台数 ①芝浜125②二日間73③清澄一15④清澄二121⑤小湊160⑥西口38⑦中央39	571	台	/ 571	/ 571	571 / 571	/	/		
		現況値の時点	令和元年度		設定根拠		市営駐車場の駐車可能台数				
		維持管理費の縮減	0	0	/ 0	/ 0	3,733,469 / 0	/	/		
		現況値の時点	0		設定根拠		維持管理費と歳入額(使用料)の差額				
			0	0	/ 0	/ 0	/ 0	/	/		
現況値の時点	0		設定根拠		0						
事業の自己評価	自己評価(担当課による評価)	1不要・凍結 2国・県・広域が実施 3要改善 4現行どおり・拡充				3要改善					
	今後の事業の方向性、課題等	市民や事業者、観光客の利便性の確保を図るため、市営駐車場の適正な管理運営を行い、必要に応じて市営駐車場の整備を行う。 なお、駐車場の有料化については、市内駐車場の利用状況や管理状況等を勘案して、検討を進めていく。									
比較参考値(他自治体での類似事業の例など)	【勝浦市】○勝浦駅北口月極駐車場(市営)・駐車料 4,000円(1区画1ヶ月あたり)・利用可能台数 50台										
特記事項	平成18年度から中央通り駐車場の管理を指定管理に移行し、鴨川市商工会を指定管理者として管理運営を行ってきたが、令和3年度より市直営に戻している。 なお、指定管理期間中は、指定管理者が駐車場使用料を利用料金として徴収し、市に徴収された金額から指定管理料相当分として360,000円を控除した額を雑入として納入していた。										

事業シート(概要説明書)

予算事業名 観光施設等維持管理事業		事業開始年度 平成16年度				
戦略 該当 ×		市民提案 関連 ×				
上位施策事業名 3-4 観光・リゾートの振興 観光・交流資源の整備充実		5計No. 30403				
5か年計画上の 事業期間(令和)		3~7				
根拠法令等		この事業の 全体計画				
関係個別計画名		担当課名 商工観光課				
事務区分 1自治事務/ 2法定受託事務 1自治事務		係名 観光振興係				
実施の背景 観光地魅力アップのため、施設の整備・充実が必要となる。また、既存の施設の中には、設置から十年以上経過しているものも多く、それら施設の修繕等の維持管理や建て替え等の計画も必要となっている。						
目的 (何をどうしたいのか) 観光公衆トイレの施設整備や周遊ルート整備、案内看板の設置などを進め、観光関連施設の充実を図る。						
対象 (誰・何を対象に)		観光客、市民				
		対象者数(全住民に対する割合) 人 (0.0 %)				
実施方法 1直接実施 1直接実施 2業務委託(全部・一部) 小湊妙の浦遊覧船協業組合、(公社)鴨川市シルバー人材センター 他 3指定管理(指定管理者) (一社)鴨川市観光協会 1補助金 直接補助の場合 間接補助の場合 2貸付(貸付先)						
第4次5か年計画の内容 観光拠点における観光公衆トイレや駐車場の整備 既存景勝地の環境整備 ルート整備 観光看板整備						
事業概要						
事業内容 (手段、手法など)		R5年度 (計画) ●清掃員雇用198千円●謝礼20千円●光熱水費565千円●修繕200千円●鯛の浦遊歩道維持管理300千円●観光会館指定管理350千円●清掃委託182千円●土地借り上げ(支所協倉庫)25千円●整備材料3千円	R4年度 (計画) ●清掃員雇用225千円●鯛の浦周辺観光施設維持管理委託280千円●観光会館指定管理350千円●施設清掃整備委託173千円●二日間海岸トイレ維持管理176千円●土地借上(支所協倉庫)25千円●その他施設管理費1,109千円	R3年度 (実績見込) ●清掃員雇用126,264円●鯛の浦周辺観光施設維持管理委託280,000円●観光会館指定管理350,000円●施設清掃整備委託170,288円●土地借上(支所協倉庫)24,948円●その他施設管理費890,977円●鯛の浦遊歩道トイレ整備に向けた調整(小湊)	R2年度 (実績) 清澄植物公園トイレ改修工事 8,118,000円	R元年度 (実績)
関連事業 (同一目的事業等) 観光施設等維持管理事業(新型コロナ対策)						
コスト						
事業費		R5年度 (予算要求)	R4年度 (当初予算)	R3年度 (決算見込)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)
事業費合計		千円	2,338 千円	1,842 千円	8,118 千円	0 千円
内訳		会計年度任用職員報酬199千円 謝礼金20千円 費用弁償26千円 消耗品費11千円 光熱水費607千円 修繕料468千円 浄化槽保守管理委託料30千円 浄化槽清掃委託料146千円 妙の浦周辺観光施設維持管理委託料280千円 天津小湊観光会館指定管理料350千円 観光施設清掃整備委託料173千円 土地借上料25千円 観光施設整備用材料3千円		会計年度任用職員報酬114,312円 謝礼金20,000円 費用弁償11,952円 需用費(光熱水・修繕)870,977円 妙の浦周辺観光施設維持管理委託料280,000円 天津小湊観光会館指定管理料350,000円 観光施設清掃整備委託料170,288円 土地借上料24,948円		観光トイレ改修工事 8,118,000円
人件費		担当正職員 0 人 千円	0.3 人 1,666 千円	0.3 人 1,666 千円	0.1 人 560 千円	人 千円
臨時職員等		報酬は事業費欄に記載	1.0 人 報酬は事業費欄に記載	2.0 人 報酬は事業費欄に記載	人 千円	人 千円
合計		0.0 人	1.3 人	2.3 人	0.1 人 560 千円	人 千円
総事業費		0 千円	4,004 千円	3,508 千円	8,678 千円	千円
財源		千円	千円	千円	5,412 千円	千円
内訳		千円	千円	千円	2,600 千円	千円
その他特財		千円	千円	千円	千円	千円
0		0	0	0	千円	千円
一般財源		0 千円	4,004 千円	3,508 千円	666 千円	千円
財源合計		0 千円	4,004 千円	3,508 千円	8,678 千円	千円

事業シート(概要説明書)

予算事業名		観光施設等維持管理事業						事業開始年度		平成16年度	
								戦略 該当	×	市民提 案関連	×
事業実績	活動実績	【活動指標名】(実績値/目標値)		現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度	
		整備事業の実績数		0	件	/ 0	/ 2	0 / 0	/	/	
		現況値の時点		令和元年度		設定根拠		整備実施予定数			
		管理している観光公衆トイレ数		13	箇所	/ 0	/ 0	13 / 13	/	/	
		現況値の時点		令和元年度		設定根拠		観光公衆トイレ設置数			
				0	0	/ 0	/ 0	/ 0	/	/	
	現況値の時点		0		設定根拠		0				
			0	0	/ 0	/ 0	/ 0	/	/		
	現況値の時点		0		設定根拠		0				
	単位当たりコスト		総事業費	/	整備事業の実績数	千円					
事業成果	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】(実績値/目標値)		現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度	
		観光入込客数		2,477	千人	/ 2,789	/ 2,656	/ 2,415	/	/	
		現況値の時点		令和元年度		設定根拠		旅行者の増加			
				0	0	/ 0	/ 0	/ 0	/	/	
		現況値の時点		0		設定根拠		0			
				0	0	/ 0	/ 0	/ 0	/	/	
現況値の時点		0		設定根拠		0					
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	1不要・凍結 2国・県・広域が実施 3要改善 4現行どおり・拡充				4現行どおり・拡充					
	今後の事業の方向性、課題等	観光公衆トイレの施設整備や周遊ルートの整備、案内看板の設置などを進め、観光関連施設の充実を図っていく。									
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	【令和3年度決算】 館山市 公衆トイレ清掃委託料5,394,607円、観光地美化事業委託料11,717,200円、那古山遊歩道清掃業務委託料500,000円、し尿浄化槽維持管理委託料2,953,500円、し尿収集手数料195,672円、修繕料2,959,011円、会計年度任用職員報酬等9,710,607円(海岸美化活動含む)										
特記事項											

事業シート(概要説明書)

予算事業名 海岸美化活動支援事業		事業開始年度 戦略 該当 × 市民提案関連 ×				
上位施策事業名 3-4 観光・リゾートの振興 観光・交流資源の整備充実		5計No. 30407 5か年計画上の事業期間(令和) 3~7				
根拠法令等		この事業の全体計画				
関係個別計画名		担当課名 商工観光課				
事務区分 1自治事務/ 2法定受託事務 1自治事務		係名 観光振興係				
実施の背景 日本の渚百選にも選定されている「前原・横渚海岸」をはじめとした本市の海岸線は地域住民憩いの場であり、観光客も多く訪れる観光スポットである。利用者からは年間を通じて美しい海岸が求められている。						
目的(何をどうしたいのか) 魅力ある海岸づくりを目指すため、関係機関との連携のもと、海岸の美化活動を推進する。						
事業概要	対象(誰・何を対象に)	観光客 対象者数(全住民に対する割合) 人 (0.0 %)				
	実施方法	1直接実施 1直接実施 2業務委託(全部・一部) (公社)鴨川市シルバー人材センター 3指定管理(指定管理者) 1補助金 直接補助の場合 間接補助の場合 2貸付(貸付先)				
	第4次5か年計画の内容	海岸管理者である千葉県等と連携し、年間を通じての海岸美化活動を行う。				
	事業内容(手段、手法など)	R5年度 (計画) ●会計年度任用職員(前原3人、天津小湊2人) 2,692千円 ●修繕料(ホイールローダー修繕)190千円 ●清掃委託料(江見)400千円 ●借上料(整地ブル)250千円 ●消耗品、保険料等 158千円	R4年度 (計画) ●会計年度任用職員(前原・江見3人、天津小湊2人)2,785千円 ●作業車輛(ホイールローダー)維持費322千円 ●植木等管理委託77千円 ●重機借上(整地ブル)200千円 ●消耗品25千円	R3年度 (実績見込) ●会計年度任用職員(前原3人、天津小湊1人) 2,507,588円 ●作業車輛(ホイールローダー)維持費291,286円 ●植木等管理委託78,220円 ●重機器借上(整地ブル)198,000円 ●消耗品16,271円	R2年度 (実績)	R元年度 (実績)
	関連事業(同一目的事業等)	(空欄)				
コスト	事業費合計	R5年度 (予算要求) 千円 0	R4年度 (当初予算) 千円 3,409	R3年度 (決算見込) 千円 3,091	R2年度 (決算) 千円	R元年度 (決算) 千円
	内訳	会計年度任用職員報酬 R4年度: 2,755千円 費用弁償30千円 消耗品費25千円 燃料費131千円 修繕料150千円 特定自主検査手数料41千円 植木等管理委託料77千円 重機器借上料200千円 R3年度: 2,485,791円 費用弁償21,797円 消耗品費16,271円 燃料費116,206円 修繕料91,080円 特定自主検査手数料40,700円 自動車損害保険料43,300円 植木等管理委託料78,220円 重機器借上料198,000円				
	人件費	担当正職員 0 人 千円 臨時職員等 報酬は事業費欄に記載 4.0 人 千円 合計 0.0 人 千円	0.3 人 1,666 千円 4.0 人 報酬は事業費欄に記載 4.3 人	0.2 人 1,111 千円 4.0 人 報酬は事業費欄に記載 4.2 人	0.0 人 千円	人 千円
	総事業費	0 千円	5,075 千円	4,202 千円	千円	千円
	財源内訳	国県支出金 千円 地方債 千円 その他特財 千円 一般財源 0 千円 財源合計 0 千円	千円 千円 千円 5,075 千円 5,075 千円	千円 千円 千円 4,202 千円 4,202 千円	千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円 千円 千円

事業シート(概要説明書)

<p>予算事業名</p> <p>海岸美化活動支援事業</p>		<p>事業開始年度</p> <p>戦略 該当 × 市民提案関連 ×</p>	
<p>事業実績</p>	<p>【活動指標名】(実績値/目標値)</p> <p>美化活動日数(延べ)</p>	<p>現況値 374</p> <p>単位 日</p>	<p>R5年度(計画) / 520</p> <p>R4年度(計画) / 520</p> <p>R3年度(見込) 403 / 520</p> <p>R2年度 /</p> <p>R元年度 /</p>
	<p>現況値の時点</p> <p>令和元年度</p>	<p>設定根拠</p> <p>従事日数見込み</p>	
	<p>清掃している海岸の数</p>	<p>現況値 3</p> <p>単位 箇所</p>	<p>R5年度(計画) / 0</p> <p>R4年度(計画) / 0</p> <p>R3年度(見込) 3 / 3</p> <p>R2年度 /</p> <p>R元年度 /</p>
	<p>現況値の時点</p> <p>令和元年度</p>	<p>設定根拠</p> <p>清掃海岸数</p>	
	<p>現況値の時点</p>		
	<p>現況値の時点</p>		
	<p>現況値の時点</p>		
<p>単位当たりコスト</p>	<p>総事業費 / 美化活動日数(延べ)</p> <p>千円</p>	<p>10</p>	
<p>事業成果</p> <p>(目標達成状況)</p>	<p>【成果指標名】(実績値/目標値)</p> <p>観光入込客数</p>	<p>現況値 2,477</p> <p>単位 千人</p>	<p>R5年度(計画) / 2,789</p> <p>R4年度(計画) / 2,656</p> <p>R3年度(見込) 1,993 / 2,415</p> <p>R2年度 /</p> <p>R元年度 /</p>
	<p>現況値の時点</p> <p>令和元年度</p>	<p>設定根拠</p> <p>旅行者の増加</p>	
	<p>現況値の時点</p>		
	<p>現況値の時点</p>		
	<p>現況値の時点</p>		
<p>自己評価(担当課による評価)</p>	<p>1不要・凍結 2国・県・広域が実施 4現行どおり・拡充</p> <p>3要改善</p>		
<p>今後の事業の方向性、課題等</p>	<p>海辺の魅力づくりによる地域の賑わい創出を考える本市においては、サーファーや観光客が多く訪れる前原・横渚海岸及び東条海岸の一部(坂下駐車場付近)について、県より海岸管理の一部移管を受け、その周辺の一体的な整備・管理を行い、地域振興を図る必要があることから、令和4年度において、海岸管理の一部移管に向けた県との協議を進めていく。なお、県より海岸管理の一部移管を受けた場合は、市が海岸の日常的管理を行っていくことになる。</p>		
<p>比較参考値(他自治体での類似事業の例など)</p>	<p>【令和3年度決算】</p> <p>館山市</p> <p>海岸ごみ回収委託料1,212,678円、産業廃棄物処理委託料227,700円、沖ノ島警備業務委託料7,741,250円、北条海岸警備業務委託料396,000円、沖ノ島環境保全協力金受領業務委託料1,304,600円、会計年度任用職員報酬等9,710,607円(観光施設整備含む)</p>		
<p>特記事項</p>			

コスト内訳 旧天津小湊町の区域における実施分 過疎該当【 ○ 】

<p>コスト</p>	<p>事業費合計</p>	<p>R5年度(予算) 千円</p> <p>902</p>	<p>R4年度(予算) 千円</p> <p>902</p>	<p>R3年度(決算) 千円</p> <p>464</p>	<p>R2年度(決算) 千円</p>	<p>R元年度(決算) 千円</p>
	<p>内訳</p>	<p>●会計年度任用職員 891千円 ●消耗品費 50千円</p>	<p>●会計年度任用職員報酬 892千円 ●費用弁償 10千円</p>	<p>●会計年度任用職員報酬 461,601円 ●費用弁償 2,185円</p>		
<p>財源</p> <p>内訳</p>	<p>国県支出金</p>	<p>千円</p>	<p>千円</p>	<p>千円</p>	<p>千円</p>	<p>千円</p>
	<p>地方債</p>	<p>千円</p>	<p>千円</p>	<p>千円</p>	<p>千円</p>	<p>千円</p>
	<p>その他特財</p>	<p>千円</p>	<p>千円</p>	<p>千円</p>	<p>千円</p>	<p>千円</p>
	<p>一般財源</p>	<p>0 千円</p>	<p>0 千円</p>	<p>0 千円</p>	<p>0 千円</p>	<p>0 千円</p>

事業シート(概要説明書)

予算事業名	観光客誘致イベント支援事業				事業開始年度		平成16年度		
					戦略 該当	×	市民提 案関連	×	
上位施策事業名	3-4 観光・リゾートの振興 観光イベント等の充実				5計No.		30409		
					5か年計画上の 事業期間(令和)		3~7		
根拠法令等	鴨川市観光業振興事業補助金交付要綱			この事業の 全体計画					
関係個別計画名					担当課名		商工観光課		
事務区分	1自治事務/ 2法定受託事務		1自治事務		係名		観光振興係		
実施の背景	市内では、官民連携によるイベントが数多く開催されている。これらのイベントの多くは、観光誘客、地域活性化に向け、市民自らが発案し、事業化されているもので、こうしたイベントの支援は市民の観光まちづくりへの参画を促す意味からも必要な事業である。								
目的 (何をどうしたいのか)	観光イベント等への支援を行うことで、観光誘客と本市の魅力向上を図るとともに、市民の観光まちづくりへの参画を促す。								
事業概要	対象 (誰・何を 対象に)	イベント参加者				対象者数(全住民に対する割合)			
						人 (0.0 %)			
	実施方法	1直接実施							
		2業務委託(全部・一部)							
		3指定管理(指定管理者)							
	1補助金		直接補助の場合 鴨川観光プラットフォーム株式会社	間接補助の場合					
	2貸付(貸付先)								
第4次5か年計画の内容	各実行委員会からの企画申請により、観光客誘致イベント事業に係る補助金を交付し、各実行委員会においてイベントを開催する。イベントについては、定番化したものに加え、新規イベント等についても柔軟に対応する。								
事業内容 (手段、手法など)	R5年度 (計画)	R4年度 (計画)	R3年度 (実績見込)	R2年度 (実績)	R元年度 (実績)				
	<ul style="list-style-type: none"> ●KAMOFes 3,000千円 ●鴨川市納涼花火(鴨川市納涼花火鴨川大会、小湊大会)6,410千円 ●天津小湊サマーイベント4,100千円 ●ほこてん×スカイランタン600千円 ●棚田の夜祭り、あかり3,500千円 ●なな煙ロード3,400千円 	観光客誘致イベント事業に係る補助金の交付19,902千円(内訳) ・鴨川市納涼花火 ・江見花火 ・連夜の花火 ・棚田の夜祭り、あかり ・菜な煙ロード ・日蓮のあかり	観光客誘致イベント事業に係る補助金の交付19,404千円(内訳) ・夏期観光振興事業(納涼花火鴨川大会、ウォールアート、小湊花火(2/16に延期)) ・連夜の花火、キッズビーチ(中止) ・江見納涼花火 ・棚田の夜祭り、あかり ・菜な煙ロード ・日蓮のあかり	観光客誘致イベント事業に係る補助金(鴨川観光プラットフォーム株式会社へ一括補助)・鴨川市納涼花火(鴨川市納涼花火鴨川大会、小湊大会)2,436,712円 ・連夜の花火、キッズビーチ4,100,000円 ・棚田の夜祭り、あかり3,500,000円 ・菜な煙ロード3,400,000円 ・春の鴨川魅力アップフェア2,000,000円					
関連事業									
コスト		R5年度 (予算要求)	R4年度 (当初予算)	R3年度 (決算見込)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)			
	事業費合計	千円	19,902 千円	19,404 千円	16,517 千円	14,500 千円			
	内訳		観光客誘致イベント事業補助金 19,902千円 【内訳】 ・鴨川市納涼花火大会(鴨川大会)6,633千円 ・江見納涼花火450千円 ・連夜の花火4,407千円 ・棚田の夜祭り、あかり3,363千円 ・菜な煙ロード3,267千円 ・日蓮のあかり480千円 ・事務費1,302千円	観光客誘致イベント事業補助金 19,404,000円 【内訳】 ・夏期観光振興事業(納涼花火鴨川大会、ウォールアート、小湊花火(2/16に延期))7,954,000円 ・連夜の花火、キッズビーチ(中止)4,049,000円 ・江見納涼花火 200,000円 ・棚田の夜祭り、あかり2,000,000円 ・菜な煙ロード 3,400,000円 ・日蓮のあかり 500,000円 ・事務費 1,301,000円	観光客誘致イベント事業補助金 16,517,000円 ・鴨川市納涼花火(鴨川市納涼花火鴨川大会、小湊大会)2,436,712円 ・連夜の花火、キッズビーチ4,100,000円 ・棚田の夜祭り、あかり3,500,000円 ・菜な煙ロード3,400,000円 ・春の鴨川魅力アップフェア 2,000,000円 ・事務費 1,080,288円				
	人件費	担当正職員	0 人 千円	0.4 人 2,222 千円	0.3 人 1,666 千円	0.2 人 1,120 千円	人 千円		
		臨時職員等	報酬は事業費欄に記載	0.0 人 報酬は事業費欄に記載	0.0 人 報酬は事業費欄に記載	人 千円	人 千円		
	合計	0.0 人	0.4 人	0.3 人	0.2 人 1,120 千円	人 千円			
	総事業費	0 千円	22,124 千円	21,070 千円	17,637 千円	千円			
財源内訳	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円			
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円			
	その他特財	千円	千円	千円	千円	千円			
	一般財源	0 千円	22,124 千円	21,070 千円	17,637 千円	千円			
	財源合計	0 千円	22,124 千円	21,070 千円	17,637 千円	千円			

事業シート(概要説明書)

予算事業名		観光客誘致イベント支援事業						事業開始年度		平成16年度	
								戦略 該当	×	市民提 案関連	×
事業実績	活動実績	【活動指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度		
		イベント実施日数	173	日	/ 173	/ 173	372 / 173	/	/		
			現況値の時点	令和元年度		設定根拠	イベントにより誘客を図る日数				
		補助金交付イベント件数	7	件	/ 7	/ 7	6 / 7	/	/		
			現況値の時点	令和元年度		設定根拠	補助金交付イベント件数				
			現況値の時点			設定根拠					
	単位当たり コスト	総事業費	/	補助金交付イ ベント件数	千円			3,512			
事業成果	成果 (目標達成 状況)	【成果指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度		
		観光イベント等の年間入込客数	238,319	人	/ 238,319	/ 238,319	61,730 / 238,319	122,443 / 300,000	238,319 / 300,000		
			現況値の時点	令和元年度		設定根拠	イベントによる誘客人数				
			現況値の時点			設定根拠					
事業の自己評価	自己評価 (担当課 による評価)	1不要・凍結 2国・県・広域が実施 3要改善 4現行どおり・拡充			3要改善						
	今後の事業の 方向性、課題 等	現在、市内では様々なイベントが行われ、観光誘客に向けた取組が進められているが、これらの中には連携をすることにより、より魅力的なイベントとなるもの、経費の削減ができるもの等があるため、イベント事業全体の検証が必要である。このようなことから、イベント事業の事務局を鴨川観光プラットフォーム株式会社を集約し、引き続きイベント全体の検証と取捨選択を行うこととする。									
比較参考値 (他自治体での 類似事業の例 など)	【令和3年度決算参考】 近隣自治体のイベント補助の状況 ・館山市 館山観光まつり事業補助金(花火大会) 1,279,479円 ※コロナ交付金により補助率9/10以内から10/10へ引き上げ。 南総里見まつり事業補助金 2,161,342円 ※コロナ交付金により補助率9/10以内から10/10へ引き上げ。 ・南房総市 観光イベント補助金 2,800,000円 ※補助対象経費の1/2以内。 ※海開きイベント等(令和3年度は岩井海岸納涼花火大会、南房総白浜海女まつり、ちくらBONフェスタは中止)										
特記事項											

事業シート(概要説明書)

予算事業名	観光団体機能強化支援事業				事業開始年度				
					戦略 該当	×	市民提 案関連	×	
上位施策事業名	3-4 観光・リゾートの振興 観光客受け入れ態勢強化				5計No.		30411		
					5か年計画上の 事業期間(令和)		3~7		
根拠法令等	鴨川市観光業振興事業補助金交付要綱		この事業の 全体計画						
関係個別計画名					担当課名	商工観光課			
事務区分	1自治事務/ 2法定受託事務	1自治事務		係名	観光振興係				
実施の背景	主要観光団体の運営に係る費用を補助している。								
目的 (何をどうしたいの か)	本市の観光振興及び観光誘客の増大を図るため、観光振興の中核的な役目を担う関係団体の活動を支援する。								
事業概要	対象 (誰・何を 対象に)						対象者数(全住民に対する割合)		
							人	(0.0 %)	
	実施方法	1直接実施							
		2業務委託(全部・一部)							
		3指定管理(指定管理者)							
	1補助金	直接補助の場 合	(一社)鴨川市観光協会、鴨川温泉旅館業協 同組合、小湊温泉組合	間接補助の場 合					
	2貸付(貸付先)								
第4次5か年 計画の内容	観光振興の中核的な役目を担う関係団体の活動を支援								
事業内容 (手段、手法 など)	R5年度 (計画)	R4年度 (計画)	R3年度 (実績見込)	R2年度 (実績)	R元年度 (実績)				
	●観光協会への支援 11,840千円●鴨川温泉旅 館業協同組合補助金 5,500千円 ●小湊温泉組 合補助金4,350千円	●観光協会への支援 10,746千円 ●鴨川温泉旅館業協 同組合への支援4,950 千円 ●小湊温泉組合への 支援3,915千円	●観光協会への支援 10,746,000円 ●鴨川温泉旅館業協 同組合への支援4,950,000 円 ●小湊温泉組合への支 援3,915,000円	観光協会補助金 11,840,000円 鴨川温泉旅館業協同 組合補助金 5,500,000 円 小湊温泉組合補助金 4,350,000円					
関連事業 (同一目的 事業等)	観光団体機能強化支援事業(新型コロナ対策)								
コスト		R5年度 (予算要求)	R4年度 (当初予算)	R3年度 (決算見込)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)			
	事業費合計	千円	19,611 千円	19,611 千円	千円	千円	千円		
	内訳		小湊温泉組合補助金 3,915千円 観光協会補助金 10,746千円 鴨川温泉旅館業協同 組合補助金 4,950千 円	小湊温泉組合補助金 3,915,000円 観光協会補助金 10,746,000円 鴨川温泉旅館業協同組 合補助金 4,950,000円					
	人件費	担当正職員	0 人 千円	0.3 人 1,666 千円	0.2 人 1,111 千円	人 千円	人 千円		
		臨時職員等	報酬は事業費 欄に記載	0.0 人 報酬は事業 費欄に記載	0.0 人 報酬は事業 費欄に記載	人 千円	人 千円		
		合計	0.0 人	0.3 人	0.2 人	0.0 人 千円	人 千円		
	総事業費	0 千円	21,277 千円	20,722 千円	千円	千円			
財源 内訳	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	その他特財	千円	千円	6,000 千円	千円	千円	千円		
				ふるさぼと基金繰入金 6,000					
	一般財源	0 千円	21,277 千円	14,722 千円	千円	千円	千円		
	財源合計	0 千円	21,277 千円	20,722 千円	千円	千円	千円		

事業シート(概要説明書)

予算事業名		観光団体機能強化支援事業						事業開始年度			
								戦略 該当	×	市民提 案関連	×
事業実績	活動実績	【活動指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度		
		観光入込客数	2477	千人	/ 2,789	/ 2,656	1,993 / 2,415	1,763 /	2,477 /		
		現況値の時点	令和元年度		設定根拠		旅行者の増加				
				/	/	/	/	/	/		
		現況値の時点			設定根拠						
				/	/	/	/	/	/		
	現況値の時点			設定根拠							
単位当たり コスト	総事業費	/	観光入込客数	千円			10				
事業成果	成果 (目標達成 状況)	【成果指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度		
		観光入込客数	2,477	千人	/ 2,789	/ 2,656	1,993 / 2,415	1763 /	2477 /		
		現況値の時点	令和元年度		設定根拠		旅行者の増加				
				/	/	/	/	/	/		
		現況値の時点			設定根拠						
		/	/	/	/	/	/				
現況値の時点			設定根拠								
事業の 自己評価	自己評価 (担当課 による評価)	1不要・凍結 2国・県・広域が実施 3要改善 4現行どおり・拡充			3要改善						
	今後の事業 の方向性、課 題等	自主財源のみでは、各団体の運営、各種事業の実施が困難であり、補助金による財政的支援が必要な状況。市、鴨川観光プラットフォーム株式会社など、当該補助金の交付先以外にも観光まちづくりの担い手が存在し、それぞれが担当している事務の重複部分も見受けられるため、各団体が果たすべき役割を精査し、効率的なまちづくりを目指していく必要がある。									
比較参考値 (他自治体での 類似事業の例 など)	【令和3年度決算状況】近隣自治体の補助状況 館山市 観光協会補助金11,137,876円(補助対象経費15,246,678円) ※補助対象経費の4/5以内(予算の範囲内)。 温泉事業組合補助金6,584,000円 ※補助対象経費の1/1以内。 南房総市 観光協会補助金15,000,000円 ※人件費の9割以内。 温泉組合補助金5,000,000円 ※定額給付のため補助率なし。 温泉郷活性化事業補助金3,771,690円 ※補助対象経費の1/3以内(補助対象経費が500万円を超えた額については1/2以内、上限額1,000円)。 新規温泉施設整備補助金41,973,000円 ※コロナ交付金により補助対象経費の1/3以内から2/3以内へ、上限額300万円から1,000万円へ引き上げ。										
特記事項	R2予算は観光振興事業にて措置										

事業シート(概要説明書)

予算事業名	観光プラットフォーム事業(中間支援組織機能強化推進事業)				事業開始年度	平成24年度					
	観光プラットフォーム事業				戦略 該当	○		市民提 案関連	○		
上位施策事業名	3-4 観光・リゾートの振興				5計No.		30413				
	観光客受け入れ態勢強化				5か年計画上の 事業期間(令和)		3~7				
根拠法令等					この事業の 全体計画						
関係個別計画名					担当課名	商工観光課					
事務区分	1自治事務/2法定受託事務		1自治事務		係名	観光まちづくり推 進係					
実施の背景	団体旅行から個人旅行へと旅行形態が変わり、体験型観光のニーズが高まっていく中、地域の観光関係者が連携した地域ならではの旅行商品を提供する着地型観光の実施や観光情報を一元化した観光のワンストップ窓口としての機能を果たすため、観光プラットフォーム推進協議会が組織され、現在は鴨川観光プラットフォーム株式会社がこの役割を担い、旅行業における収益事業及び観光プロモーション等の公益事業を行っている。市は、同社の支援を行う。										
目的 (何をどうしたいのか)	本市が持つ様々な観光資源を活用した旅行商品の造成、販売、プロモーション等、観光まちづくりを一元的に担う組織として設立された観光プラットフォームの取組を支援し、更なる観光地イメージアップを図り、観光誘客を推進する。										
事業概要	対象 (誰・何を 対象に)	国内外の観光客							対象者数(全住民に対する割合)		
									人	(0.0 %)	
	実施方法	1直接実施									
		2業務委託(全部・一部)									
		3指定管理(指定管理者)									
	1補助金	直接補助の場合	鴨川観光プラットフォーム株式会社				間接補助の場合				
	2貸付(貸付先)										
第4次5か年 計画の内容	中間支援組織であるDMO候補法人の機能強化を図る。・着地型旅行商品の造成・販売・メディアを利用した宣伝・広告										
事業内容 (手段、手法 など)	R5年度 (計画)	R4年度 (計画)	R3年度 (実績見込)	R2年度 (実績)	R元年度 (実績)						
	・観光プラットフォームの中間支援組織としての機能強化に向けた専門人材の登用に対する支援 ・着地型旅行商品の造成販売及びメディアを活用した宣伝・広告	・観光プラットフォームの中間支援組織としての機能強化に向けた専門人材の登用に対する支援 ・着地型旅行商品の造成販売及びメディアを活用した宣伝・広告	地域の観光まちづくりの舵取り役となるDMO法人鴨川観光プラットフォーム株式会社の活動に対する支援を行う。 ・教育旅行事業 ・プロモーション事業 ・DMO関連事業 ・管理運営事業	地域の観光まちづくりの舵取り役となるDMO法人鴨川観光プラットフォーム株式会社の活動に対する支援を行う。 DMO法人組織機能強化事業 10,000千円 補助金交付件数							
関連事業 (同一目的 事業等)											
コスト		R5年度 (予算要求)	R4年度 (当初予算)	R3年度 (決算見込)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)					
	事業費合計	千円	14,700 千円	18,000 千円	10,000 千円	20,000 千円					
	内訳		観光プラットフォーム補助金 14,700,000円	観光プラットフォーム補助金 18,000,000円	観光プラットフォーム補助金 10,000,000円						
	人件費	担当正職員	人	0 千円	0.4 人 2,222 千円	0.5 人 2,777 千円	0.7 人 3,921 千円	人	千円		
		臨時職員等	人	報酬は事業費欄に記載	人 報酬は事業費欄に記載	人 報酬は事業費欄に記載	人	千円	人	千円	
合計		0.0 人		0.4 人	0.5 人	0.7 人 3,921 千円	人	千円			
総事業費	0 千円	16,922 千円	20,777 千円	13,921 千円							
財源 内訳	国県支出金	千円	千円	千円	千円						
	地方債	千円	千円	千円	千円						
	その他特財	千円	千円	10,000 千円	10,000 千円						
		入湯税		入湯税	ふるさぼ一と基金繰入金 10,000	地域振興基金繰入金(観光振興事業に12000)					
	一般財源	0 千円	16,922 千円	10,777 千円	3,921 千円						
	財源合計	0 千円	16,922 千円	20,777 千円	13,921 千円						

事業シート(概要説明書)

予算事業名		観光プラットフォーム事業(中間支援組織機能強化推進事業)							事業開始年度		平成24年度		
観光プラットフォーム事業									戦略 該当	○	市民提 案関連	○	
事業実績	活動実績	【活動指標名】(実績値/目標値)		現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度			
		中間支援組織の旅行商品等取扱件数		4,273	件	/ 7,500	/ 7,200	2,690 / 7,000	1,655 /	4,273 /			
				現況値の時点		令和元年度		設定根拠	組織機能強化による旅行商品等の増加				
		カモ旅の年間アクセスユーザー数		72,820	人	/ 95,000	/ 93,000	557,934 / 90,000	316,015 / 55,000	72,820 /			
				現況値の時点		令和元年度		設定根拠	情報発信力の強化に伴うアクセス数の増加				
		インターネットを活用した市場調査における回答件数		328	件	/ 500	/ 450	686 / 400	599 / 599	328 / 328			
			現況値の時点		令和元年度		設定根拠						
			現況値の時点				設定根拠						
	単位当たりコスト		総事業費	中間支援組織の取扱件数	千円				8				
	事業成果	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】(実績値/目標値)		現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度		
観光入込客数			2,477	千人	/ 2,789	/ 2,656	1,993 / 2,415	1,762 /	2,477 /				
			現況値の時点		令和元年度		設定根拠	旅行者の増加					
宿泊客数			691	千人泊	/ 676	/ 614	497 / 512	490 /	692 /				
			現況値の時点		令和元年度		設定根拠	旅行者の増加					
			現況値の時点				設定根拠						
事業の自己評価	自己評価(担当課による評価)	1不要・凍結 2国・県・広域が実施 3要改善 4現行どおり・拡充				3要改善							
	今後の事業の方向性、課題等	<p>鴨川観光プラットフォーム株式会社は、観光まちづくりを一元的に担う組織として、関係事業団体との連携によるプロモーションや観光庁補助事業を活用した宿泊施設等の高付加価値化事業等の公益事業を実施しており、引き続き支援は必要である。今後は、関連官庁の支援メニューを活用した更なる観光振興を行うとともに、株式会社としての収益事業を充実させることで行政の補助に頼らない経営となるよう指導していく必要がある。</p> <p>また、現在、鴨川市、観光協会など同社以外にも観光まちづくりの担い手が存在し、それぞれが担当している事務の重複部分も見受けられるため、各団体が果たすべき役割を精査し、効率的なまちづくりを目指していく必要がある。</p>											
比較参考値(他自治体での類似事業の例など)		<p>登録DMO法人への支援の状況(千葉県内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝浦市(登録DMO法人:(一社)勝浦市観光協会) 補助金なし(委託事業あり) ・大多喜町(登録DMO法人:わくわくカンパニー大多喜) 補助金なし(施設の指定管理等の委託事業あり) 											
特記事項													

事業シート(概要説明書)												
予算事業名	観光プロモーション事業								事業開始年度		平成24年度	
									戦略該当	×	市民提案関連	×
上位施策事業名	3-4 観光・リゾートの振興								5計No.		30414	
	地域イメージの確立及び観光関連情報のシステムの発信								5か年計画上の事業期間(令和)		3~7	
根拠法令等									この事業の全体計画			
関係個別計画名									担当課名		商工観光課	
事務区分	1自治事務/2法定受託事務		1自治事務						係名		観光まちづくり推進係	
実施の背景	本市の魅力やイベント情報を多くの方に発信し、鴨川市に訪問してもらうことで、観光業、商工業、農林水産業等の振興を図り、地域活性化に繋げる。											
目的(何をどうしたいのか)	本市が持つ様々な観光資源や観光誘客イベントについて、効果的なプロモーションを行い、来訪者及び宿泊施設利用者を増加させる。											
事業概要	対象(誰・何を対象に)	市民、来訪者								対象者数(全住民に対する割合)		
										人 (0.0 %)		
	実施方法	1直接実施		1直接実施								
		2業務委託(全部・一部)										
		3指定管理(指定管理者)										
1補助金		直接補助の場合				間接補助の場合						
2貸付(貸付先)												
第4次5か年計画の内容	観光宣伝キャンペーンへ積極的に参加し、本市のPRを行う。・県等と連携したキャンペーン・市単独で実施するキャンペーン											
事業内容(手段、手法など)	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(実績見込)	R2年度(実績)	R元年度(実績)							
	観光宣伝キャンペーンの実施及び支援・県等と連携したキャンペーン・ロッテマリーズ等を活用した観光宣伝	・SNS及び市HPによる情報発信 ・県等と連携したキャンペーン ・千葉ロッテマリーズ等を活用した観光宣伝 ・観光プロモーション事業(マーケティング、観光情報サイトの運営等)の実施	・SNS及び市HPによる情報発信 ・県等と連携したキャンペーン ・千葉ロッテマリーズ等を活用した観光宣伝	地域おこし協力隊の活動による観光情報の発信や千葉ロッテマリーズとの協同による観光情報の宣伝などを実施する。また、天津小湊観光会館での観光案内等その他観光振興事業を実施する。・地域おこし協力隊活動事業 3,778,118円 委嘱者数・千葉ロッテマリーズとの連携によるプロモーション事業 3,300,000円 プロモーション実施件数・鴨川吉保梅の里づくり事業 1,000,000円 補助金交付件数・天津小湊観光会館維持管理事業 350,000円 開館日数・その他観光振興事業 130,400円								
関連事業(同一目的事業等)												
コスト	R5年度(予算要求)		R4年度(当初予算)		R3年度(決算見込)		R2年度(決算)		R元年度(決算)			
	事業費合計		12,100 千円		3,462 千円		8,326 千円		9,211 千円			
	内訳		消耗品費 27,000円 広告料 253,000円 観光宣伝広告料 3,300,000円 観光プロモーション事業委託料 8,520,000円		消耗品費 25,846円 広告料 136,400円 観光宣伝広告料 3,300,000円		謝礼金 20,000円 地域おこし協力隊報酬金 2,400,000円 広告料 26,400円 観光宣伝広告料 3,300,000円 地域おこし協力隊支援委託料 1,125,882円 天津小湊観光会館 350,000円 日本自動車連盟負担金 4,000円 千葉県国際観光推進協議会負担金 80,000円 ちばプロモーション協議会負担金 10,000円 自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村負担金 10,000円 花の観光まちづくり事業補助金 1,000,000円					
	担当正職員	0 人	0.6 人	0.6 人	0.4 人	2,241 千円						
	臨時職員等	0 人	0.6 人	0.6 人	0.4 人	2,241 千円						
合計	0.0 人	0.6 人	0.6 人	0.4 人	2,241 千円							
総事業費	0 千円		15,432 千円		6,794 千円		10,567 千円		千円			
財源内訳	国県支出金	千円		千円		千円		千円		千円		
	地方債	千円		千円		千円		千円		千円		
	その他特財	千円		千円		3,000 千円		千円		千円		
	一般財源	0 千円		15,432 千円		3,794 千円		10,567 千円		千円		
	財源合計	0 千円		15,432 千円		6,794 千円		10,567 千円		千円		

事業シート(概要説明書)

予算事業名		観光プロモーション事業						事業開始年度		平成24年度	
								戦略 該当	×	市民提 案関連	×
事業実績	活動実績	【活動指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度		
		観光宣伝キャンペーンの年間実施回数	31	回	/ 25	/ 23	2 / 20	/	/		
			現況値の時点		令和元年度		設定根拠	広域連盟等によるキャンペーン実施数			
		商工観光課公式SNSでの情報発信回数	418	回	/ 400	/ 400	418 / 400	/	/		
			現況値の時点		令和3年度		設定根拠	Twitter(手ぶらDeかもがわ)での情報発信回数			
		千葉ロッテマリーンズによるプロモーション実施回数	573	回	/ 573	/ 573	573 / 573	/	/		
			現況値の時点		令和3年度		設定根拠	ホーム球場での動画再生回数、広告誌への掲載回数、SNSでの情報発信回数の合計			
	現況値の時点				設定根拠						
単位当たりコスト	総事業費	/	商工観光課SNSでの情報発信回数	千円			16				
事業成果	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度		
		観光入込客数	2,477	千人	/ 2,789	/ 2,656	1,993 / 2,415	/	/		
			現況値の時点		令和元年度		設定根拠	旅行者の増加			
		宿泊客数	691	千人泊	/ 676	/ 614	497 / 512	/	/		
			現況値の時点		令和元年度		設定根拠	旅行者の増加			
	Twitter(手ぶらDeかもがわ)のフォロワー数	5200	人	/ 9000	/ 7000	5200 / 3000	/	/			
	現況値の時点		令和3年度		設定根拠	各年度3月末現在のフォロワー数					
事業の自己評価	自己評価(担当課による評価)	1不要・凍結 2国・県・広域が実施 3要改善 4現行どおり・拡充			3要改善						
	今後の事業の方向性、課題等	新型コロナウイルス感染症の影響により、従来のパンフレット配布などのキャンペーンが実施できない中、SNSホームページを活用した情報発信やデジタルを活用したプロモーション活動を実施していく必要がある。 これまで実施してきた観光パンフレットの配布などの対面型キャンペーンについては、人手が必要であることに加え、パンフレット配布がどれだけ鴨川市への訪問に繋がっているのか検証できないため、費用対効果を踏まえた観光プロモーションのあり方を今後検討していく必要がある。 また、行政や鴨川観光プラットフォーム株式会社、観光協会など観光プロモーションの担い手が複数存在することから、今後は、それぞれの役割を精査し、効率的なプロモーション活動を関係団体と連携のもと実施していく必要がある。									
比較参考値(他自治体での類似事業の例など)	令和3年度決算 【館山市】観光プロモーション事業 3,114,627円 【南房総市】観光PR事業 13,140,972円 【勝浦市】観光PR事業 1,653,316円										
特記事項	観光プラットフォーム補助金の事業にあった観光プロモーション事業を令和4年度から委託事業に切り替え、本事業に予算計上している。(観光プロモーション事業業務委託料8,520,000円)										

事業シート(概要説明書)

予算事業名 観光まちづくりの推進 観光地域づくり育成支援事業		事業開始年度 平成30年度		
戦略該当 <input checked="" type="checkbox"/> 市民提案関連 <input checked="" type="checkbox"/>				
上位施策事業名		5計No. 5か年計画上の事業期間(令和)		
根拠法令等 鴨川市補助金等交付規則		この事業の全体計画		
関係個別計画名		担当課名 商工観光課		
事務区分 1自治事務/2法定受託事務 1自治事務		係名 観光まちづくり推進係		
実施の背景 千葉県補助事業を活用し、観光コンテンツの磨き上げや観光誘客を図り、観光まちづくりの推進を図る。				
目的(何をどうしたいのか) 観光コンテンツの磨き上げ等により観光客の誘致を図り、将来的な観光入込みや宿泊者の増加に繋げる。				
事業概要	対象(誰・何を対象に) 観光客		対象者数(全住民に対する割合) 人 (0.0 %)	
	実施方法 1直接実施 2業務委託(全部・一部) 3指定管理(指定管理者) 1補助金 直接補助の場合 間接補助の場合 2貸付(貸付先)			
	第4次5か年計画の内容			
	事業内容(手段、手法など)		R5年度 (計画) R4年度 (計画) R3年度 (実績見込) R2年度 (実績) R元年度 (実績) 小湊地区における観光振興事業を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により事業の実施ができなかった。	
	関連事業(同一目的事業等)			
コスト	事業費合計		R5年度 (予算要求) R4年度 (当初予算) R3年度 (決算見込) R2年度 (決算) R元年度 (決算) 千円 0千円 0千円 千円 千円	
	内訳			
	人件費 担当正職員 人 0千円 0.0人 0千円 0.0人 0千円 臨時職員等 報酬は事業費欄に記載 人 報酬は事業費欄に記載 人 報酬は事業費欄に記載 合計 0.0人 0.0人 0.0人 0.0人		千円 千円 千円 千円	
	総事業費			0千円 0千円 0千円 千円 千円
	財源内訳 国県支出金 千円 千円 千円 地方債 千円 千円 千円 その他特財 千円 千円 千円 一般財源 0千円 0千円 0千円 財源合計 0千円 0千円 0千円 千円 千円			

事業シート(概要説明書)

予算事業名		観光まちづくりの推進						事業開始年度		平成30年度		
		観光地域づくり育成支援事業						戦略 該当	×	市民提 案関連	×	
事業実績	活動実績	【活動指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度			
		実施事業数			/	/	0 /	/	/			
		現況値の時点					設定根拠	講演会、モニターツアー等の実施された事業数				
					/	/	/	/	/			
		現況値の時点					設定根拠					
					/	/	/	/	/			
	現況値の時点					設定根拠						
単位当たりコスト	総事業費	/	実施事業数	千円			0					
事業成果	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度			
		観光入込客数	2477	千人	/	2789	/	2656	1993 / 2415	/	/	
		現況値の時点	令和元年度				設定根拠	旅行者の増加				
		宿泊客数	691	千人泊	/	676	/	614	497 / 512	/	/	
	現況値の時点	令和元年度				設定根拠	旅行者の増加					
			/	/	/	/	/					
現況値の時点					設定根拠							
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	1不要・凍結 2国・県・広域が実施 3要改善 4現行どおり・拡充			1不要・凍結							
	今後の事業の方向性、課題等	千葉県補助事業が廃止されたため、本予算事業は廃止とし、今後は、本事業の目的である観光コンテンツの磨き上げ等について、鴨川観光プラットフォーム株式会社との連携により、観光まちづくりの推進を図っていく。										
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)												
特記事項												

事業シート(概要説明書)

予算事業名 魅力体験広場維持管理事業		事業開始年度 令和3年度	
戦略 該当 ×		市民提案 関連 ×	
上位施策事業名 3-4 観光・リゾートの振興 観光・交流資源の整備充実		5計No. 5か年計画上の事業期間(令和)	
根拠法令等 鴨川市魅力体験広場の設置及び管理に関する条例 鴨川市魅力体験広場の設置及び管理に関する条例施行規則		この事業の 全体計画	
関係個別計画名 前原横渚海岸周辺の魅力づくりに関する計画		担当課名 商工観光課	
事務区分 1自治事務/ 2法定受託事務 自治事務		係名 観光振興係	
実施の背景 前原・横渚海岸は日本の渚百選に選ばれながらも、前原海水浴場における海水浴客は年々減少となっており、周辺のサーフポイントにおける入込数についても、減少となっている。また、後背地にあるかつて賑わいを見せていた旧商店街も、現在では営業店舗も少なく、多くの空き店舗が発生するなど周辺地域の賑わいの消失につながっている状況となっており、その対策が求められたものである。			
目的(何をどうしたいのか) 美しい海岸を有する鴨川市の特性を活かし、前原横渚海岸を核にフィッシャリーナからプロムナードを経て、旧市民会館まで一帯の魅力の増進、加えて、旧商店街の再生なども見据え、商業機能の活性化を図ることも含めた、前原横渚海岸周辺の魅力づくりを進めるため、拠点施設の一つである魅力体験広場の適正な管理運営を民間事業者とともに行うことで賑わい創出を図る。			
事業概要	対象(誰・何を対象に) 前原横渚海岸周辺地域の利用者		対象者数(全住民に対する割合) 人 (0.0 %)
	実施方法 1直接実施 2業務委託(全部・一部) 山一園、アサヒ造園 3指定管理(指定管理者) 1補助金 直接補助の場合 間接補助の場合 2貸付(貸付先)		
	第4次5か年計画の内容 レクリエーション機会の提供、通年でのイベント誘致、魅力体験広場の維持管理、施設管理手法の検討		
	事業内容(手段、手法など)		R5年度 (計画) R4年度 (計画) R3年度 (実績見込) R2年度 (実績) R元年度 (実績)
	・施設維持管理業務 ・イベント誘致		・施設維持管理業務 ・案内看板設置工事 ・施設維持管理業務 ・利活用事業プロポーザル関連事務
関連事業(同一目的事業等)			
コスト	R5年度 (予算要求) R4年度 (当初予算) R3年度 (決算見込) R2年度 (決算) R元年度 (決算)		千円 千円 千円 千円 千円
	事業費合計		2,854 千円 1,779 千円
	内訳		消耗品費50千円、燃料費7千円、光熱水費463千円、修繕料50千円、樹木管理等委託料1,549千円、工事請負費735千円 消耗品費49,607円、光熱水費132,436円、修繕料56,100円、車検手数料4,700円、自動車損害保険料5,250円、樹木管理等委託料1,522,895円、自動車重量税8,200円
	人件費		担当正職員 0 人 千円 0.3 人 1,666 千円 0.3 人 1,666 千円 臨時職員等 報酬は事業費欄に記載 報酬は事業費欄に記載 合計 0.0 人 千円 0.3 人 千円 0.3 人 千円 0.0 人 千円
	総事業費		0 千円 4,520 千円 3,445 千円
財源内訳	国県支出金		千円 367 千円 千円
	地方債		千円 千円 千円
	その他特財 使用料		3,115 千円 2,693 千円 千円
	一般財源		-3,115 千円 1,460 千円 3,445 千円
	財源合計		0 千円 4,520 千円 3,445 千円

事業シート(概要説明書)

予算事業名		魅力体験広場維持管理事業						事業開始年度		令和3年度		
								戦略 該当	×	市民提 案関連	×	
事業実績	活動実績	【活動指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度			
		民間事業者利活用事業プロポーザル実施に伴う、事業参入件数	0	社	/	/	1 / 1	/	/			
			現況値の時点		令和3年度		設定根拠	事業参入が決定した事業者数				
		樹木管理実施回数	5	回	/	/	5 / -	/	/			
			現況値の時点		令和3年度		設定根拠	植木の管理実施回数				
			現況値の時点				設定根拠					
	単位当たりコスト	総事業費	/	民間事業者利活用事業プロポーザル実施に伴う、事業参入件数	千円			3,445				
	事業成果	成果(目標達成状況)	【成果指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度		
			民間事業者利活用事業プロポーザル実施に伴う、事業参入件数	0	件	/	/	1 / 0	/	/		
				現況値の時点		令和3年度		設定根拠	新規事業			
利用状況(イベント等)			0	件	/	/	0 / -	/	/			
		現況値の時点		令和3年度		設定根拠	イベント開催件数					
		現況値の時点				設定根拠						
事業の自己評価	自己評価(担当課による評価)	1不要・凍結 2国・県・広域が実施 3要改善 4現行どおり・拡充			4現行どおり・拡充							
	今後の事業の方向性、課題等	<p>民間事業者の事業参入が決まり、令和4年度中に施設整備が完了予定である。令和4年度末以降、本格的に事業が開始されることから、当該施設の利用増加が見込まれる。</p> <p>今後は、参入事業者との連携により、イベントを開催するなどし、当該施設並びに当該エリア全体の賑わい創出を図るものとする。</p> <p>当該エリアへの来訪者が増加すると見込まれ、駐車場が不足することから駐車場整備が急務となる。</p>										
比較参考値(他自治体での類似事業の例など)	<p>木更津市 鳥居崎公園 管理委託料250万円(令和4年度予算)、駐車場台数215台(芝生広場臨時駐車場46台含む)</p> <p>※ParkPFIにより令和4年度3月18日からリニューアルオープン</p> <p>※北側と南側に分かれており、南側のみ市の管理</p>											
特記事項												

事業シート(概要説明書)

予算事業名	観光誘客事業(新型コロナ対策)				事業開始年度		令和3年度		
					戦略該当	×	市民提案関連	×	
上位施策事業名					5計No.				
					5か年計画上の事業期間(令和)				
根拠法令等	鴨川市補助金等交付規則		この事業の全体計画						
関係個別計画名					担当課名	商工観光課			
事務区分	1自治事務/2法定受託事務		1自治事務		係名	観光まちづくり推進係			
実施の背景	新型コロナウイルス感染症の影響より、人流抑制や行動制限が要請され、旅行需要が低下し、本市の観光入込客数や宿泊者数が大きく落ち込んでいるため、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した観光誘客事業を実施する。								
目的(何をどうしたいのか)	新型コロナウイルス感染拡大の影響により減少した観光客が回復傾向にある中、さらなる観光誘客を図り、市内の消費喚起に繋げるため、観光誘客事業を実施し、鴨川市への来訪の動機づけ及び鴨川市への観光誘客を図る。								
事業概要	対象(誰・何を対象に)	市内宿泊施設利用者				対象者数(全住民に対する割合)			
						15000人 (47.7%)			
	実施方法	1直接実施							
		2業務委託(全部・一部)							
		3指定管理(指定管理者)							
	1補助金	直接補助の場合	鴨川観光プラットフォーム株式会社		間接補助の場合				
	2貸付(貸付先)								
第4次5か年計画の内容									
事業内容(手段、手法など)	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(実績見込)	R2年度(実績)	R元年度(実績)				
			市内宿泊者に対し、鴨川シーワールド入館券をプレゼントする事業を行った。 ・実施機関 令和3年6月1日から7月30日まで宿泊 ・対象者 市内宿泊者(4歳以上) ・対象人数 15,000人 ※ 鴨川観光プラットフォーム株式会社への補助により実施						
関連事業(同一目的事業等)									
コスト		R5年度(予算要求)	R4年度(当初予算)	R3年度(決算見込)	R2年度(決算)	R元年度(決算)			
	事業費合計	千円	0千円	32,000千円	千円	千円			
	内訳			観光誘客事業補助金 32,000,000円					
	人件費	担当正職員	0人	0人	0.1人	555人	千円	千円	千円
		臨時職員等	報酬は事業費欄に記載	報酬は事業費欄に記載	報酬は事業費欄に記載	報酬は事業費欄に記載	千円	千円	千円
		合計	0.0人	0.0人	0.1人	0.0人	千円	千円	千円
総事業費	0千円	0千円	32,555千円	千円	千円				
財源内訳	国県支出金	千円	千円	19,786千円	千円	千円			
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円			
	その他特財	千円	千円	千円	千円	千円			
	一般財源	0千円	0千円	12,769千円	千円	千円			
	財源合計	0千円	0千円	32,555千円	千円	千円			

事業シート(概要説明書)

予算事業名		観光誘客事業(新型コロナ対策)						事業開始年度		令和3年度	
								戦略 該当	×	市民提 案関連	×
事業実績	活動実績	【活動指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度		
		補助金交付件数		件	/	/	1 / 1	/	/		
			現況値の時点				設定根拠	交付した補助金の件数			
		参加事業者数		事業者	/	/	47 / 47	/	/		
			現況値の時点				設定根拠	事業に参加した宿泊事業者			
		誘致した宿泊者数		人	/	/	15,000 /	/	/		
		現況値の時点				設定根拠	入館券を配布した人数				
		現況値の時点				設定根拠					
	単位当たりコスト	総事業費	/	誘致した宿泊者数	千円			2			
	事業成果	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度	
誘致した宿泊者数				人	/	/	15000 / 15000	/	/		
			現況値の時点				設定根拠	入館券を配布した人数			
観光消費額				百万円	/	/	411 /	/	/		
			現況値の時点				設定根拠	誘致した宿泊者数から算出した観光消費額			
			現況値の時点				設定根拠				
事業の自己評価	自己評価(担当課による評価)	1不要・凍結 2国・県・広域が実施 3要改善 4現行どおり・拡充				3要改善					
	今後の事業の方向性、課題等	新型コロナウイルス感染拡大の影響により減少した観光需要の回復のため実施した事業であり、今後も引き続きコロナ対策事業として必要な事業であり、今後も国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した観光誘客に向けた事業を関係団体との連携により実施していく。 なお、プロモーション等経費を事務費として計上して補助を行ったものの、人件費等の精査については必要と考える。 また、宿泊施設の宿泊プランが本事業の対象であるか明確化されていないなど旅行者から多く問い合わせを頂いたことから、事業実施手法について実施主体とともに検証していく必要がある。									
比較参考値(他自治体での類似事業の例など)	館山市 : 令和3年度実施なし 南房総市: 観光復興対策業務委託料 39,490,000円 (宿泊者クーポン、バス旅行支援、体験観光支援) 勝浦市 : 令和3年度実施なし										
特記事項											

事業シート(概要説明書)

予算事業名 観光施設等維持管理事業(新型コロナ対策)		事業開始年度 戦略 該当 × 市民提案関連 ×																															
上位施策事業名		5計No. 5か年計画上の事業期間(令和)																															
根拠法令等		この事業の全体計画																															
関係個別計画名		担当課名 商工観光課																															
事務区分		係名 観光振興係																															
実施の背景		新型コロナウイルス感染症のまん延																															
目的(何をどうしたいのか)		ニタ間海岸トイレ及び平塚区民センタートイレは、汚水を浄化して再利用する循環型(バイオマス)トイレであるが、この方式では排泄物に混入している新型コロナウイルスが生存し続けるおそれがあることから、感染拡大防止対策として合併処理浄化槽型に改修する。																															
対象(誰・何を対象に)		ニタ間海岸トイレ、平塚区民センタートイレ 対象者数(全住民に対する割合) 人 (0.0 %)																															
実施方法		1直接実施 2業務委託(全部・一部) (株)サン建築総合事務所、(株)久野工業 3指定管理(指定管理者) 1補助金 直接補助の場合 間接補助の場合 2貸付(貸付先)																															
第4次5か年計画の内容																																	
事業内容(手段、手法など)		<table border="1"> <thead> <tr> <th>R5年度 (計画)</th> <th>R4年度 (計画)</th> <th>R3年度 (実績見込)</th> <th>R2年度 (実績)</th> <th>R元年度 (実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td> 【繰越分】 ●平塚区民センタートイレの改修 14,740千円 ①合併処理浄化槽設置(14人槽) ②機器の入れ替え 男子トイレ 洋式便器1基 女子トイレ 洋式便器2基 </td> <td> ●ニタ間海岸トイレの改修 10,285,000円 ①合併処理浄化槽設置(18人槽) ②機器入れ替え 男子トイレ 洋式便器1基 女子トイレ 洋式便器2基 ●平塚区民センタートイレ改修工事設計監理業務の委託(令和4年度へ繰越) </td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		R5年度 (計画)	R4年度 (計画)	R3年度 (実績見込)	R2年度 (実績)	R元年度 (実績)		【繰越分】 ●平塚区民センタートイレの改修 14,740千円 ①合併処理浄化槽設置(14人槽) ②機器の入れ替え 男子トイレ 洋式便器1基 女子トイレ 洋式便器2基	●ニタ間海岸トイレの改修 10,285,000円 ①合併処理浄化槽設置(18人槽) ②機器入れ替え 男子トイレ 洋式便器1基 女子トイレ 洋式便器2基 ●平塚区民センタートイレ改修工事設計監理業務の委託(令和4年度へ繰越)																						
R5年度 (計画)	R4年度 (計画)	R3年度 (実績見込)	R2年度 (実績)	R元年度 (実績)																													
	【繰越分】 ●平塚区民センタートイレの改修 14,740千円 ①合併処理浄化槽設置(14人槽) ②機器の入れ替え 男子トイレ 洋式便器1基 女子トイレ 洋式便器2基	●ニタ間海岸トイレの改修 10,285,000円 ①合併処理浄化槽設置(18人槽) ②機器入れ替え 男子トイレ 洋式便器1基 女子トイレ 洋式便器2基 ●平塚区民センタートイレ改修工事設計監理業務の委託(令和4年度へ繰越)																															
関連事業(同一目的事業等)		観光施設等維持管理事業																															
コスト		<table border="1"> <thead> <tr> <th>R5年度 (予算要求)</th> <th>R4年度 (当初予算)</th> <th>R3年度 (決算見込)</th> <th>R2年度 (決算)</th> <th>R元年度 (決算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 事業費合計 千円 14,740 </td> <td> 10,285 </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 内訳 【繰越分】 ・設計監理委託料 990千円 ・平塚区民センタートイレ改修工事 13,750千円 </td> <td> ・設計監理委託料 935,000円 ・ニタ間海岸トイレ改修工事 9,350,000円 </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 人件費 担当正職員 0 千円 臨時職員等 報酬は事業費欄に記載 合計 0.0 人 </td> <td> 0.1 人 555 千円 0.0 人 報酬は事業費欄に記載 0.1 人 </td> <td> 0.2 人 1,111 千円 0.0 人 報酬は事業費欄に記載 0.2 人 </td> <td> 0.0 人 </td> <td> 0.0 人 </td> </tr> <tr> <td> 総事業費 0 千円 </td> <td> 15,295 千円 </td> <td> 11,396 千円 </td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		R5年度 (予算要求)	R4年度 (当初予算)	R3年度 (決算見込)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	事業費合計 千円 14,740	10,285				内訳 【繰越分】 ・設計監理委託料 990千円 ・平塚区民センタートイレ改修工事 13,750千円	・設計監理委託料 935,000円 ・ニタ間海岸トイレ改修工事 9,350,000円				人件費 担当正職員 0 千円 臨時職員等 報酬は事業費欄に記載 合計 0.0 人	0.1 人 555 千円 0.0 人 報酬は事業費欄に記載 0.1 人	0.2 人 1,111 千円 0.0 人 報酬は事業費欄に記載 0.2 人	0.0 人	0.0 人	総事業費 0 千円	15,295 千円	11,396 千円							
R5年度 (予算要求)	R4年度 (当初予算)	R3年度 (決算見込)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)																													
事業費合計 千円 14,740	10,285																																
内訳 【繰越分】 ・設計監理委託料 990千円 ・平塚区民センタートイレ改修工事 13,750千円	・設計監理委託料 935,000円 ・ニタ間海岸トイレ改修工事 9,350,000円																																
人件費 担当正職員 0 千円 臨時職員等 報酬は事業費欄に記載 合計 0.0 人	0.1 人 555 千円 0.0 人 報酬は事業費欄に記載 0.1 人	0.2 人 1,111 千円 0.0 人 報酬は事業費欄に記載 0.2 人	0.0 人	0.0 人																													
総事業費 0 千円	15,295 千円	11,396 千円																															
財源		<table border="1"> <thead> <tr> <th>R5年度 (予算要求)</th> <th>R4年度 (当初予算)</th> <th>R3年度 (決算見込)</th> <th>R2年度 (決算)</th> <th>R元年度 (決算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 国県支出金 千円 12,558 </td> <td> 10,285 </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 地方債 千円 </td> <td> 千円 </td> <td> 千円 </td> <td> 千円 </td> <td> 千円 </td> </tr> <tr> <td> その他特財 千円 </td> <td> 千円 </td> <td> 千円 </td> <td> 千円 </td> <td> 千円 </td> </tr> <tr> <td> 一般財源 0 千円 </td> <td> 2,737 千円 </td> <td> 1,111 千円 </td> <td> 千円 </td> <td> 千円 </td> </tr> <tr> <td> 財源合計 0 千円 </td> <td> 15,295 千円 </td> <td> 11,396 千円 </td> <td> 千円 </td> <td> 千円 </td> </tr> </tbody> </table>		R5年度 (予算要求)	R4年度 (当初予算)	R3年度 (決算見込)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	国県支出金 千円 12,558	10,285				地方債 千円	千円	千円	千円	千円	その他特財 千円	千円	千円	千円	千円	一般財源 0 千円	2,737 千円	1,111 千円	千円	千円	財源合計 0 千円	15,295 千円	11,396 千円	千円	千円
R5年度 (予算要求)	R4年度 (当初予算)	R3年度 (決算見込)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)																													
国県支出金 千円 12,558	10,285																																
地方債 千円	千円	千円	千円	千円																													
その他特財 千円	千円	千円	千円	千円																													
一般財源 0 千円	2,737 千円	1,111 千円	千円	千円																													
財源合計 0 千円	15,295 千円	11,396 千円	千円	千円																													

事業シート(概要説明書)

予算事業名		観光施設等維持管理事業(新型コロナ対策)						事業開始年度		
								戦略 該当	×	市民提 案関連
事業実績	活動実績	【活動指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度	
		浄化槽設置数	0	箇所	/	/	1 / 2	/	/	
		現況値の時点	令和2年度		設定根拠		改修済み箇所			
		循環型(バイオマス)トイレの設置数(残数)	2	箇所	/	/	1 / 0	/	/	
		現況値の時点	令和2年度		設定根拠		未改修箇所			
				/	/	/	/	/		
	現況値の時点			設定根拠						
	単位当たりコスト	総事業費	/	浄化槽設置数	千円			11,396		
	事業成果	成果 (目標達成 状況)	【成果指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度
			浄化槽設置数	0	箇所	/	/	1 / 2	/	/
現況値の時点			令和2年度		設定根拠		改修済み箇所			
循環型(バイオマス)トイレの設置数(残数)			2	箇所	/	/	1 / 0	/	/	
現況値の時点			令和2年度		設定根拠		未改修箇所			
				/	/	/	/	/		
現況値の時点			設定根拠							
事業の自己評価	自己評価 (担当課 による評価)	1不要・凍結 2国・県・広域が実施 3要改善 4現行どおり・拡充			4現行どおり・拡充					
	今後の事業 の方向性、課題等	令和4年度に平塚区民センタートイレの改修工事を行う。								
比較参考値 (他自治体での 類似事業の例 など)										
特記事項		平塚区民センタートイレの改修については、令和4年度に繰越。								

事業シート(概要説明書)

予算事業名 観光団体機能強化支援事業(新型コロナ対策)		事業開始年度 戦略 該当 × 市民提案関連 ×	
上位施策事業名		5計No. 5か年計画上の事業期間(令和)	
根拠法令等		この事業の全体計画	
関係個別計画名		担当課名 商工観光課	
事務区分		係名 観光振興係	
実施の背景		新型コロナウイルス感染症のまん延	
目的(何をどうしたいのか)		コロナ禍における温泉配湯事業を支援し、観光振興・経済の活性化を図る。また、感染防止の観点から宿泊施設が行う個室風呂化等に伴い増加する配湯の需要に対応し事業の充実を図る。	
事業概要	対象(誰・何を対象に)	対象者数(全住民に対する割合) 222828 人 (708.8 %)	
	実施方法	1直接実施 2業務委託(全部・一部) 3指定管理(指定管理者) 1補助金 直接補助の場合 鴨川温泉旅館業協同組合 間接補助の場合 2貸付(貸付先)	
	第4次5か年計画の内容		
	事業内容(手段、手法など)	R5年度 (計画) R4年度 (計画) 【繰越分】 温泉配湯車購入の支援 6,500千円 <車両の概要> 車両総重量11t、長さ5,300×幅2,190×高さ400、FRPタンク(10t)、購入費13,000千円 R3年度 (実績見込) 令和4年度へ繰越 R2年度 (実績) R元年度 (実績)	
	関連事業(同一目的事業等)	観光団体機能強化支援事業	
コスト	事業費合計	R5年度 (予算要求) 千円 R4年度 (当初予算) 6,500 千円 R3年度 (決算見込) 0 千円 R2年度 (決算) 千円 R元年度 (決算) 千円	
	内訳	【繰越分】 ・温泉配湯車購入補助金 6,500千円(対象経費の1/2) 【予算措置】 R3年度→ R4年度(明許繰越)	
	人件費	担当正職員 人 0 千円 臨時職員等 報酬は事業費欄に記載 人 555 千円 合計 0.0 人 千円	
	総事業費	0 千円 7,055 千円 0 千円 千円 千円	
	財源内訳	国県支出金 千円 5,538 千円 地方債 千円 千円 その他特財 千円 千円 一般財源 0 千円 1,517 千円 財源合計 0 千円 7,055 千円 0 千円 千円 千円	

事業シート(概要説明書)

予算事業名		観光団体機能強化支援事業(新型コロナ対策)							事業開始年度	
									戦略 該当	×
事業実績	活動実績	【活動指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度	
		温泉配湯車購入の支援件数		件	/	/	1 /	/	/	
		現況値の時点			設定根拠	温泉配湯車購入の支援件数				
					/	/	/	/	/	
		現況値の時点			設定根拠					
					/	/	/	/	/	
				/	/	/	/	/		
				/	/	/	/	/		
				/	/	/	/	/		
	単位当たり コスト	総事業費	/	温泉配湯車購入 の支援件数	千円					
事業成果	成果 (目標達成 状況)	【成果指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度	
		温泉配湯車購入の支援件数		件	/	/	/	/	/	
		現況値の時点			設定根拠	温泉配湯車購入の支援件数				
					/	/	/	/	/	
		現況値の時点			設定根拠					
					/	/	/	/	/	
事業の 自己評価	自己評価 (担当課 による評価)	1不要・凍結 2国・県・広域が実施 3要改善 4現行どおり・拡充			4現行どおり・拡充					
	今後の事業 の方向性、課 題等	事業繰越のため、令和4年度において、温泉配湯車の購入を支援する。								
比較参考値 (他自治体での 類似事業の例 など)	館山市 該当なし 南房総市 既存の新規温泉施設設備整備事業補助金においてコロナ交付金を活用。 令和3年度及び令和4年度は補助率1/3以内から2/3以内へ、補助上限額300万円から1,000円へ引き上げ。 令和3年度決算額41,973,000円、約10件									
特記事項	R3年度予算は、3月補正にて予算措置。									

事業シート(概要説明書)

予算事業名 観光振興事業(新型コロナ対策)(繰越分)		事業開始年度 令和2年度	
戦略 該当 ×		市民提案 関連 ×	
上位施策事業名		5計No. 5か年計画上の 事業期間(令和)	
根拠法令等 鴨川市補助金等交付規則		この事業の 全体計画	
関係個別計画名		担当課名 商工観光課	
事務区分 1自治事務/ 2法定受託事務		係名 観光まちづくり 推進係	
実施の背景 新型コロナウイルス感染症の影響より、人流抑制や行動制限が要請されたことに伴い、旅行需要が低下し、本市の観光入込客数や宿泊者数が大きく落ち込んでいるため、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した観光振興事業を実施する。			
目的 (何をどうしたいのか) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、観光客が減少する中、観光振興事業を実施し、鴨川市への来訪の動機付け及び観光誘客を図る。			
事業概要	対象 (誰・何を対象に)		対象者数(全住民に対する割合) 人 (0.0 %)
	実施方法 1直接実施 2業務委託(全部・一部) 3指定管理(指定管理者) 1補助金 直接補助の場合 鴨川観光プラットフォーム株式会社 間接補助の場合 2貸付(貸付先)		
	第4次5か年計画の内容		
	事業内容 (手段、手法など)		R5年度 (計画) R4年度 (計画) R3年度 (実績見込) R2年度 (実績) R元年度 (実績) 市内宿泊施設を利用した方に対象店舗で利用可能な5,000円の商品券をプレゼントする「鴨川元気キャンペーン」を令和2年度の繰越事業として実施した。 ※鴨川観光プラットフォーム株式会社への補助事業として実施 ・鴨川元気キャンペーンプレミアム付商品券発行事業 ・鴨川元気キャンペーン事業 ・観光プロモーション事業 ・鴨川おもてなしキャンペーン事業 ・地域の魅力づくり推進事業
	関連事業 (同一目的)		
コスト	事業費合計		R5年度 (予算要求) 千円 R4年度 (当初予算) 0 千円 R3年度 (決算見込) 76,394 千円 R2年度 (決算) 106,561 千円 R元年度 (決算) 千円
	内訳		鴨川元気キャンペーン補助金 76,394,000円 鴨川元気キャンペーン事業委託料 35,227,000円 観光プロモーション事業補助金 22,000,000円 鴨川おもてなしキャンペーン補助金 4,878,000円 地域の魅力づくり推進事業補助金 5,000,000円 鴨川元気キャンペーン補助金 32,606,000円 鴨川元気キャンペーンプレミアム付商品券発行事業補助金 6,850,000円
	人件費		担当正職員 0 人 千円 0.0 人 千円 0.2 人 1,111 千円 0.4 人 2,241 千円 臨時職員等 報酬は事業費欄に記載 報酬は事業費欄に記載 報酬は事業費欄に記載 合計 0.0 人 千円 0.0 人 千円 0.2 人 千円 0.4 人 千円
	総事業費		0 千円 0 千円 77,505 千円 千円 千円
	財源内訳		国県支出金 千円 千円 76,394 千円 千円 千円 地方債 千円 千円 千円 千円 千円 その他特財 千円 千円 千円 千円 千円 一般財源 0 千円 0 千円 1,111 千円 千円 千円 財源合計 0 千円 0 千円 77,505 千円 千円 千円

事業シート(概要説明書)

予算事業名		観光振興事業(新型コロナ対策)(繰越分)						事業開始年度		令和2年度	
								戦略 該当	×	市民提 案関連	×
事業実績	活動実績	【活動指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度		
		補助金交付件数		件	/	/	1 / 1	/	/		
			現況値の時点		設定根拠						
		参加事業者数		事業者	/	/	267 / 267	/	/		
			現況値の時点		設定根拠		事業に参加した事業者数				
		誘致した宿泊者数		人	/	/	17,427 / 14,878	/	/		
			現況値の時点		設定根拠		商品券を配布者及びその家族等				
					/	/	/	/	/		
			現況値の時点		設定根拠						
		単位当たり コスト	総事業費	/	誘致した宿泊 者数	千円			4		
事業成果	成果 (目標達成 状況)	【成果指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度		
		誘致した宿泊者数		人	/	/	17427 / 14878	/	/		
			現況値の時点		設定根拠		商品券を配布者及びその家族等				
		観光消費額		百万円	/	/	484 / 484	/	/		
			現況値の時点		設定根拠		誘致した宿泊者数から算出した観光消費 額				
					/	/	/	/	/		
	現況値の時点		設定根拠								
事業の 自己評価	自己評価 (担当課 による評価)	1不要・凍結 2国・県・広域が実施 3要改善 4現行どおり・拡充			3要改善						
	今後の事業 の方向性、課 題等	新型コロナウイルス感染拡大の影響により減少した観光需要の回復のため実施した事業であり、今後も引き続きコロナ対策 事業として必要な事業であり、今後も国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した観光誘客に向けた 事業を関係団体との連携により実施していく。 なお、プロモーション等経費を事務費として計上して補助を行ったものの、人件費等の精査については必要である。 また、宿泊施設の宿泊プランが本事業の対象であるか明確化されていないなど旅行者から多く問い合わせを頂いたことか ら、事業実施手法について実施主体とともに検証していく必要がある。									
比較参考値 (他自治体での 類似事業の例 など)											
特記事項		本事業は、令和3年秋に民放各局のニュースなどで取り上げられたことにより、一部の宿泊施設の予約サイトにアクセスが集 中し、サーバーダウンとなるなど相当のプロモーション効果があった。									

事業シート(概要説明書)

予算事業名	海辺の魅力づくり推進事業				事業開始年度	平成28年度				
	海辺の魅力づくり推進事業(繰越分)				戦略 該当	○	市民提 案関連	×		
上位施策事業名	3-4 観光・リゾートの振興				5計No.		30408			
	観光・交流資源の整備充実				5か年計画上の 事業期間(令和)		3~7			
根拠法令等					この事業の 全体計画	前原横渚海岸周辺の魅力づくりに関する計画				
関係個別計画名					担当課名	商工観光課				
事務区分	1自治事務/ 2法定受託事務		1自治事務		係名	観光まちづくり推進係				
実施の背景	前原・横渚海岸は日本の渚百選に選ばれながらも、前原海水浴場における海水浴客数は年々減少しており、周辺のサーフポイントにおける入込数についても減少となっている。また、後背地にあるかつて賑わいを見せていた商店街も、現在では営業店舗も少なく、多くの空き店舗が発生するなど、周辺地域の賑わいが消失しつつある状況となっており、その対策が求められたもの。									
目的 (何をどうしたいのか)	美しい海岸を有する鴨川市の特性を活かし、前原横渚海岸を核にフィッシャリーナからプロムナードを経て、市民会館、市営プール、東条海岸に至るまでの一帯の魅力の増進、加えて、商業環境の整備により商業機能の活性化を図ることも含めた、前原横渚海岸周辺の魅力づくりを推進する。									
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	前原横渚海岸周辺地域利用者				対象者数(全住民に対する割合)				
						人 (0.0 %)				
	実施方法	1直接実施								
		2業務委託(全部・一部)		(株)サン建築総合事務所、(株)久野工業						
		3指定管理(指定管理者)								
1補助金		直接補助の場合		間接補助の場合						
2貸付(貸付先)										
第4次5か年計画の内容	・レクリエーション機会の提供 ・通年でのイベント誘致 ・魅力体験広場の維持管理 ・エアーマネジメントセンターの整備検討 ・施設管理手法の検討									
事業内容 (手段、手法など)	R5年度 (計画)	R4年度 (計画)	R3年度 (実績見込)	R2年度 (実績)	R元年度 (実績)					
	◆魅力体験広場(維持管理費:1,000千円、樹木管理:1,500千円、イベント誘致、活用方針検討)	◆海辺のグランドデザインの策定 ◆魅力体験広場の利活用事業に係る鴨川漁港土地利用計画変更資料の作成	◆魅力体験広場休憩施設の建設 30,955,000円	◆魅力体験広場内休憩施設設計委託料 2,585,000円 魅力体験広場内休憩施設整備に係る設計業務・プロジェクトマネジメント体制強化委託業務 19,404,000円 前原横渚海岸周辺の魅力づくりに関する計画の計画推進に係る業務委託・民間参入可能性調査委託料 4,906,000円 旧市民会館周辺地域への民間事業者参入可能性調査・海辺拠点体制整備補助金 5,239,000円 魅力体験広場の賑わい創出に必要な試行事業実施に係る補助事業						
関連事業 (同一目的事業等)										
コスト		R5年度 (予算要求)	R4年度 (当初予算)	R3年度 (決算見込)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)				
	事業費合計	千円	8,646 千円	30,955 千円	32,143 千円	91,190 千円				
	内訳	・グランドデザイン作成業務委託料 6,160千円 ・鴨川漁港土地利用計画変更資料作成業務委託料 2,486千円 ・建築確認検査手数料 12,000円 ・監理委託料 693,000円 ・海辺エリア拠点整備工事 30,250,000円 ・設計委託料 2,585,000円 ・建築確認申請手数料 9,000円 ・プロジェクトマネジメント体制強化委託料 19,404,000円 ・民間参入可能性調査委託料 4,906,000円 ・海辺拠点体制整備補助金 5,239,000円								
	人件費	担当正職員	0 千円	0.4 人 2,222 千円	0.1 人 555 千円	0.7 人 3,921 千円				
	臨時職員等	報酬は事業費欄に記載	0.0 人	報酬は事業費欄に記載	0.0 人	報酬は事業費欄に記載				
合計	0.0 人	0.4 人	0.1 人	0.7 人	3,921 千円					
総事業費	0 千円	10,868 千円	31,510 千円	36,064 千円						
財源内訳	国県支出金	千円	千円	15,125 千円	4,906 千円	千円				
	地方債	千円	千円	13,400 千円	千円	千円				
	その他特財	千円	千円	千円	千円	千円				
	一般財源	0 千円	10,868 千円	2,985 千円	31,158 千円	千円				
	財源合計	0 千円	10,868 千円	31,510 千円	36,064 千円	千円				

事業シート(概要説明書)

予算事業名		海辺の魅力づくり推進事業							事業開始年度		平成28年度	
		海辺の魅力づくり推進事業(繰越分)							戦略 該当	○	市民提 案関連	×
事業実績	活動実績	【活動指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度			
		レクリエーション等実施件数	2	件	/ 4	/ 3	0 / 3	/	/			
		現況値の時点	令和元年度		設定根拠		試行事業の拡大・定着化及び新規コンテンツの造成を目指す。					
		イベント開催件数	3	件	/ 5	/ 4	0 / 4	/	/			
		現況値の時点	令和元年度		設定根拠		既存イベントの拡大及び新規イベントの造成を行いシーズン毎の開催を目指す。					
		整備した施設数	-	施設	/ 0	/ 0	1 / -	/	/			
		現況値の時点	-		設定根拠		広場内に設置した施設の数					
		現況値の時点			設定根拠							
単位当たりコスト	総事業費	/	整備した施設数	千円			31,510					
事業成果	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度			
		前原海水浴場及び周辺サーフポイントにおける入込客数	76,993	人	/ 105,000	/ 100,000	46,408 / 95,000	/	/			
		現況値の時点	令和元年度		設定根拠		平常時における過去5年のピーク時を目標値とした(H27)					
		海岸におけるレクリエーション参加者数	601	人	/ 705	/ 670	0 / 635	/	/			
		現況値の時点	令和元年度		設定根拠		現状から概ね3割の増加を目指す。					
現況値の時点			設定根拠									
事業の自己評価	自己評価(担当課による評価)	1不要・凍結 2国・県・広域が実施 3要改善 4現行どおり・拡充			4現行どおり・拡充							
	今後の事業の方向性、課題等	令和3年度は、令和2年度の繰越事業として地方創生推進交付金を活用し、魅力体験広場に休憩施設を整備した。令和4年度は、前原横渚海岸周辺地域の将来像を描くランドデザイン策定業務を実施し、当該地域の賑わい創出や地域活性化に向けた今後の事業推進を検討していく。本事業は、鴨川市の観光まちづくりにおける主要な事業の一つであることから、継続して実施していく。										
比較参考値(他自治体での類似事業の例など)												
特記事項		魅力体験広場の維持管理に係る事業については、令和3年度から予算事業「魅力体験広場維持管理事業」に必要経費を計上して実施している。										

事業シート(概要説明書)

予算事業名	オーシャンパーク管理運営事業				事業開始年度	平成23年度					
					戦略 該当	○		市民提 案関連	×		
上位施策事業名	3-4 観光・リゾートの振興				5計No.		30406				
	観光・交流資源の整備充実				5か年計画上の 事業期間(令和)		3~7				
根拠法令等	鴨川オーシャンパークの設置及び管理に関する条例			この事業の 全体計画							
関係個別計画名					担当課名	商工観光課					
事務区分	1自治事務/ 2法定受託事務		1自治事務		係名	観光振興係					
実施の背景	鴨川オーシャンパークについては、供用開始以来20年以上が経過し、施設設備の老朽化が目立ってきている。加えて、施設の利用状況についても、国道沿いから施設の様子も分かりづらく利用者数も減少傾向にあり、更なる活用方策の検討が必要となっている。										
目的 (何をどうしたいのか)	道の駅に求められる多面的な機能を十分に意識しながら、老朽化した施設の維持管理を適切に行い、利用者の増加を図る。										
事業概要	対象 (誰・何を 対象に)	観光客、市民				対象者数(全住民に対する割合)					
						人		(0.0 %)			
	実施方法	1直接実施									
		2業務委託(全部・一部)									
		3指定管理(指定管理者)		鴨川市農林業体験交流協会							
	1補助金		直接補助の場合				間接補助の場合				
	2貸付(貸付先)										
第4次5か年 計画の内容	指定管理料の支払い。現在の道の駅へ求められる多面的な機能を意識した修繕計画の策定。既存施設、設備の改修等メンテナンス										
事業内容 (手段、手法 など)	R5年度 (計画)	R4年度 (計画)	R3年度 (実績見込)	R2年度 (実績)	R元年度 (実績)						
	●指定管理料 11,129千円 ●現在の道の駅へ求められる多面的な機能を意識した改修計画の検討と修繕・千年磯及び芝生広場修繕、太鼓橋修繕、施設内外修繕 ●既存施設、設備の修繕等メンテナンス1,500千円	●指定管理者制度による管理運営 11,129千円 ●施設敷地の土地借上 2,028千円 ●駐車場及び駐車場内トイレの管理 1,385千円 ●その他の管理経費(修繕、AEDリース、備品等) 1,211千円	●指定管理者制度による管理運営 11,129,000円 ●施設敷地の土地借上 2,027,620円 ●駐車場及び駐車場内トイレの管理 1,339,514円 ●その他の管理経費(施設修繕、AEDリース等) 2,357,850円	道の駅であるオーシャンパークについて、指定管理者制度による施設の管理運営を行う。オーシャンパークの管理運営 14,947,681円 年間入込人数							
関連事業 (同一目的 事業等)	オーシャンパーク管理運営事業(新型コロナ対策)										
コスト		R5年度 (予算要求)	R4年度 (当初予算)	R3年度 (決算見込)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)					
	事業費合計	千円	15,753 千円	16,854 千円	14,948 千円	14,452 千円					
	内訳	光熱水費 369千円 修繕料 999千円 清掃等委託料 1,016千円 オーシャンパーク指定管理料 11,129千円 土地借上料 2,028千円 自動体外式除細動器リース料 80千円 施設用備品購入費 132千円		光熱水費 325,776円 修繕料 2,278,650円 清掃等委託料 1,013,738円 オーシャンパーク指定管理料 11,129,000円 土地借上料 2,027,620円 自動体外式除細動器リース料 79,200円		光熱水費 299,123円 修繕料 399,000円 清掃等委託料 1,013,738円 オーシャンパーク委託料 11,129,000円 土地借上料 2,027,620円 自動体外式除細動器リース料 79,200円					
		担当正職員	人	0 千円	0.2 人 1,111 千円	0.2 人 1,111 千円	0.1 人 560 千円				
	臨時職員等	人	報酬は事業費欄に記載	人 報酬は事業費欄に記載	人 報酬は事業費欄に記載	人					
合計	0.0 人		0.2 人	0.2 人	0.1 人 560 千円						
総事業費	0 千円		16,864 千円		17,965 千円		15,508 千円				
財源 内訳	国県支出金	千円		千円		千円		千円		千円	
	地方債	千円		千円		千円		千円		千円	
	その他特財	千円		6,605 千円		6,605 千円		6,266 千円		千円	
				オーシャンパーク使用料		オーシャンパーク使用料		オーシャンパーク使用料			
	一般財源	0 千円		10,259 千円		11,360 千円		9,242 千円		千円	
財源合計	0 千円		16,864 千円		17,965 千円		15,508 千円		千円		

事業シート(概要説明書)

予算事業名		オーシャンパーク管理運営事業						事業開始年度		平成23年度	
								戦略 該当	○	市民提 案関連	×
事業実績	活動実績	【活動指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度		
		オーシャンパーク入込数	277,521	人	/ 330,000	/ 300,000	269,838 / 277,521	/	/		
			現況値の時点	令和元年度		設定根拠	年間入込数による				
		オーシャンパーク開館日数	358	日	/ 0	/ 0	363 / 363	/	/		
			現況値の時点	令和元年度		設定根拠	開館予定日数				
			現況値の時点			設定根拠					
			現況値の時点			設定根拠					
単位当たり コスト	総事業費	/	オーシャン パーク入込数	千円			0				
事業成果	成果 (目標達成 状況)	【成果指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度		
		オーシャンパーク入込数	277,521	人	/ 330,000	/ 300,000	269,838 / 277,521	/	/		
			現況値の時点	令和元年度		設定根拠	年間入込数による				
			現況値の時点			設定根拠					
			現況値の時点			設定根拠					
事業の 自己評価	自己評価 (担当課 による評価)	1不要・凍結 2国・県・広域が実施 3要改善 4現行どおり・拡充			3要改善						
	今後の事業 の方向性、課 題等	鴨川オーシャンパークについては、建設後22年が経過し、施設の老朽化が進んでおり、利用者からは、駐車場からのアプローチとして太鼓橋が利用しづらいこと、千年磯の遊具が壊れて遊べない等、施設についての苦情を受けている状況にある。さらには、千葉県を整備した駐車場側のトイレが老朽化し水回りや電気系統の故障が頻繁に発生している状況に加え、未だ和式のため、利用しづらいとの苦情も多く寄せられており、抜本的な施設改修等も視野に入れ、将来を見据えた施設のあり方についても検討を進める必要がある。									
比較参考値 (他自治体での 類似事業の例 など)	市の歳出について 君津市(きみつふるさと物産館) 全部利用料金制度(自立的経営) 施設の清掃等委託料 354万円 南房総市(とみうら枇杷倶楽部) 22,452,523円(指定管理料、土地借上料金、施設修繕費) 使用料について 館山市/渚の駅たてやま レクチャールーム 1,060円/時間 南房総市/とみうら枇杷倶楽部 ギャラリー・多目的室 1,120円 外 君津市/きみつふるさと物産館 直売所・喫茶店 売上金額の20%/1日										
特記事項											

事業シート(概要説明書)

予算事業名		オーシャンパーク管理運営事業(新型コロナ対策)				事業開始年度						
						戦略 該当	×	市民提 案関連	×			
上位施策事業名						5計No.						
						5か年計画上の 事業期間(令和)						
根拠法令等		鴨川オーシャンパークの設置及び管理に関する条例		この事業の 全体計画								
関係個別計画名						担当課名		商工観光課				
事務区分		1自治事務/2法定受託事務		1自治事務		係名		観光振興係				
実施の背景		新型コロナウイルス感染症のまん延										
目的 (何をどうしたいの か)		新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、鴨川オーシャンパーク厨房室の換気設備の更新を行う。										
事業概要	対象 (誰・何を 対象に)	オーシャンパーク来訪者				対象者数(全住民に対する割合)						
						251251 人 (799.2 %)						
	実施方法	1直接実施										
		2業務委託(全部・一部)		野口電工(有)								
		3指定管理(指定管理者)										
1補助金		直接補助の場合		間接補助の場合								
2貸付(貸付先)												
第4次5か年 計画の内容												
事業内容 (手段、手法 など)	R5年度 (計画)	R4年度 (計画)	R3年度 (実績見込)	R2年度 (実績)	R元年度 (実績)							
		【繰越分】 オーシャンパークの厨 房エアコン更新 2,420 千円 (天吊型 耐重耐塩仕 様1組(抗菌用フィル ター装着))	・空調設備更新工事の発 注(令和4年度へ繰越)									
関連事業 (同一目的 事業等)	オーシャンパーク管理運営事業											
コスト		R5年度 (予算要求)	R4年度 (当初予算)	R3年度 (決算見込)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)						
	事業費合計	千円	2,420 千円	0 千円	千円	千円						
	内訳		【繰越分】 ・空調設備更新工事 2,420千円	【予算措置】 R3年度→ R4年度(明許 繰越)								
	人件費	担当正職員	人	0 千円	0.1 人	555 千円	0.1 人	555 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員等	人	報酬は事業費 欄に記載	人	報酬は事業費 欄に記載	人	報酬は事業費 欄に記載	人	千円	人	千円
合計		0.0 人		0.1 人		0.1 人		0.0 人	千円	人	千円	
総事業費	0 千円	2,975 千円	555 千円	千円	千円							
財源 内訳	国県支出金	千円	2,062 千円	千円	千円	千円						
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円						
	その他特財	千円	千円	千円	千円	千円						
	一般財源	0 千円	913 千円	555 千円	千円	千円						
	財源合計	0 千円	2,975 千円	555 千円	千円	千円						

事業シート(概要説明書)

予算事業名		オーシャンパーク管理運営事業(新型コロナ対策)							事業開始年度	
									戦略 該当	×
事業実績	活動実績	【活動指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度	
		コロナ対策設備の更新件数		件	/	/	0 /	/	/	
		現況値の時点			設定根拠	コロナ対策設備への更新件数				
				/	/	/	/	/	/	
		現況値の時点			設定根拠					
				/	/	/	/	/	/	
			/	/	/	/	/	/		
			/	/	/	/	/	/		
	現況値の時点			設定根拠						
	単位当たり コスト	総事業費	/	コロナ対策設 備の更新件数	千円			0		
事業成果	成果 (目標達成 状況)	【成果指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度	
		コロナ対策設備の更新件数		件	/	/	/	/	/	
		現況値の時点			設定根拠	コロナ対策設備への更新件数				
				/	/	/	/	/	/	
		現況値の時点			設定根拠					
				/	/	/	/	/	/	
事業の 自己評価	自己評価 (担当課 による評価)	1不要・凍結 2国・県・広域が実施 3要改善 4現行どおり・拡充			4現行どおり・拡充					
	今後の事業 の方向性、課 題等	令和4年度に厨房室の空調設備の更新工事を実施する。								
比較参考値 (他自治体での 類似事業の例 など)		南房総市 16,104千円 ECサイトシステム強化・道の駅業務改善支援 君津市(きみつふるさと物産館) 33万円 施設内の水栓を自動のものへと切り替え								
特記事項		令和3年度予算は、3月補正にて予算措置。								

事業シート(概要説明書)

予算事業名	消費者対策事業(消費者相談体制促進事業)				事業開始年度		平成16年度		
	消費者相談運営事業				戦略 該当	×	市民提 案関連	×	
上位施策事業名	2-6 消費者対策の充実				5計No.		20602		
	消費生活相談の充実及び情報の提供				5か年計画上の 事業期間(令和)		3~7		
根拠法令等	消費者基本法			この事業の 全体計画					
関係個別計画名					担当課名		商工観光課		
事務区分	1自治事務/2法定受託事務		1自治事務		係名		商工振興係		
実施の背景	社会状況の変化等とともに複雑化の傾向にある消費者問題に対して迅速に対応するため、国は平成21年に消費者庁を発足させ地方消費者行政の強化が求められており、本市としても市民の安全・安心な消費生活を確保していく上で国や関連団体として連携して消費者被害の防止を図るため必要である。								
目的 (何をどうしたいのか)	市民の健全な消費生活を確保するとともに、消費生活に関するトラブル等を未然に防止することを目的とする。								
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市民				対象者数(全住民に対する割合)			
						31,439 人 (100.0 %)			
	実施方法	1直接実施		1直接実施					
		2業務委託(全部・一部)							
		3指定管理(指定管理者)							
1補助金		直接補助の場合		間接補助の場合					
2貸付(貸付先)									
第4次5か年計画の内容	消費生活相談や法律の専門家による無料相談を実施する。								
事業内容 (手段、手法など)	R5年度 (計画)	R4年度 (計画)	R3年度 (実績見込)	R2年度 (実績)	R元年度 (実績)				
		・研修会への参加 ・消費者相談の実施	・研修会への参加 ・消費者相談の実施	・消費生活相談等事業 -円(総務課市民相談室運営事業に含まれる) 市民相談における消費生活苦情相談件数・消費生活情報提供事業 -円 市民相談における消費生活苦情相談件数・品質表示等監視事業 -円 市内販売店立ち入り検査の実施回数					
関連事業 (同一目的事業等)									
コスト		R5年度 (予算要求)	R4年度 (当初予算)	R3年度 (決算見込)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)			
	事業費合計	千円	39 千円	0 千円	0 千円	437 千円			
	内訳		・研修旅費7千円						
	人件費	担当正職員	0 千円	0.1 人 555 千円	0.1 人 555 千円	0.1 人 280 千円			
		臨時職員等		報酬は事業費欄に記載	報酬は事業費欄に記載	報酬は事業費欄に記載			
合計		0.0 人	0.1 人	0.1 人	0.1 人 280 千円				
総事業費	0 千円	594 千円	555 千円	280 千円	千円				
財源内訳	国県支出金	千円	千円	千円	0 千円	千円			
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円			
	その他特財	千円	千円	千円	千円	千円			
	一般財源	0 千円	594 千円	555 千円	280 千円	千円			
	財源合計	0 千円	594 千円	555 千円	280 千円	千円			

事業シート(概要説明書)

予算事業名 消費者対策事業(消費者相談体制促進事業) 消費者相談運営事業		事業開始年度					平成16年度	
		戦略 該当	×			市民提 案関連	×	
事業実績 活動実績	【活動指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度
	消費者相談会の開催日数	6	件	/ 6	/ 6	1 / 6	/	/
	現況値の時点	令和元年度			設定根拠	定期的な開催により定着を目指す。		
	現況値の時点			/	/	/	/	/
	現況値の時点				設定根拠			
	現況値の時点			/	/	/	/	/
	現況値の時点				設定根拠			
単位当たり コスト	総事業費	/	消費者相談会 の開催日数	千円			-	
事業成果 成果 (目標達成 状況)	【成果指標名】(実績値/目標値)	現況値	単位	R5年度(計画)	R4年度(計画)	R3年度(見込)	R2年度	R元年度
	消費生活相談件数	25	件	/ 25	/ 25	19 / 25	/	/
	現況値の時点	令和元年度			設定根拠	件数減少が一概に被害防止とは言えず 現状維持とする。		
	現況値の時点			/	/	/	/	/
	現況値の時点				設定根拠			
事業の自己評価	自己評価 (担当課 による評価)	1不要・凍結 2国・県・広域が実施 3要改善 4現行どおり・拡充			4現行どおり・拡充			
	今後の事業 の方向性、課 題等	消費生活問題に関する相談件数は減少傾向であるため、消費生活情報提供の効果が現れていると考えられる。しかし、市民が消費生活のトラブルを抱えても、家族や近隣住民に対する羞恥心などから消費生活相談等をせず潜在化している可能性も否めない。また、消費生活問題は経済情勢や社会現象等の変化によって、様々な事案が発生することから、今後状況に応じた内容の情報提供等が必要である。						
比較参考値 (他自治体での 類似事業の例 など)	消費生活相談体制(令和3年4月1日現在) ○鴨川市 相談員2名 毎週月曜日・水曜日・金曜日 ○館山市 相談員1名 毎週木曜日 ○南房総市 相談員1名 月2回(曜日不定)							
特記事項								